

コンビ ベビーカー スゴカル L long オンライン取扱説明書

品質保証書付

ご使用前に必ずこのオンライン取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

■取りはずしてある部品は、本書をよく読んで正しく取り付けてください。

※日本語の説明書は、SG基準に適合した内容の説明書です。



安全基準A形

(1ヵ月～48ヵ月ころまで)



製品のイラストはイメージです。

タイプにより仕様が異なる可能性があります。

製品の仕様は、改善などのため、予告なしに変更することがあります。

もくじ

※もくじの項目をクリックすると、該当ページへ移動します。

はじめに

ご使用前に	1
安全にご使用いただくために	2
各部のなまえ	6

ベビーカーの使いかた

ベビーカーの開きかた	7
対面・背面の使いかた	8
ーハンドルの切り替えかた	8
ーキャスターロックレバーの使いかた	9
ストッパーの使いかた	10
ステップの使いかた	11
フロントガードの使いかた	11
幌の使いかた	12
シートベルト(股ベルト・腰ベルト・肩ベルト)の使いかた ..	13
ー締めかた・はずしかた	13
ー調節のしかた	14
ー取り付けかた	15
リクライニングの使いかた	17
フットサポートバーの使いかた	18
折りたたみかた	19
カゴの取り付けかた	20
着脱シートのはずしかた・取り付けかた	21
折りたたみ時の持ち運びかた	24
ヘッドサポートの使いかた(取り付けかた)	25
頭部用エッグショックパッドの取り付けかた	25

お手入れ方法

縫製品の洗濯について	26
車体の清掃について	27
注油について	27
保管のしかた	27

その他

点検とアフターサービスについて	28
ベビーカーの「標準使用期間」について	28
廃棄方法について	28
SGマークの被害者救済制度	28

繁體中文 使用説明書

ENGLISH Instruction manual

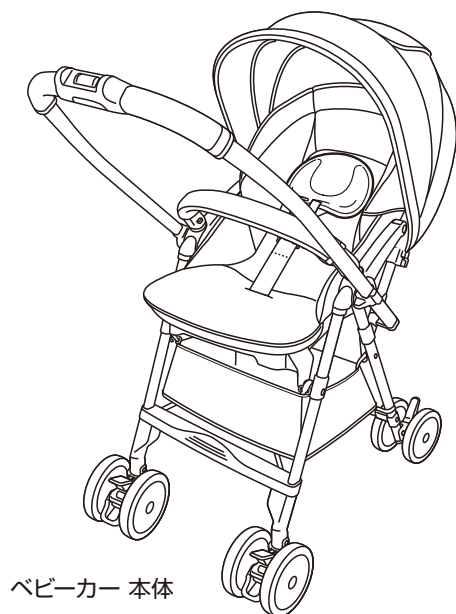
ご使用の前に

- この製品は、一般家庭でお子さまを乗せ、外気浴、買い物などに使用するための1人乗り乳母車（ベビーカー）です。
- 望ましい連続使用時間：2時間以内（ただし、生後7ヵ月以上を対象にした座位使用時は1時間以内）
- 使用できるお子さまの月齢：生後1ヵ月※以上48ヵ月ころまで（お子さまの体重の目安18kg以下）

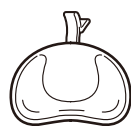
※生後1ヵ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上を満たし、1ヵ月経過したお子さまを示します。

開封されましたら各部品がそろっているかご確認ください。

箱の中には次のものが入っています。箱を開けたらすべてそろっていることを確認してください。



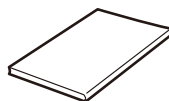
ベビーカー 本体



ヘッドサポート



頭部用
エッグショックパッド
(ヘッドサポートに内蔵)



クイックスタートガイド

ヘッドサポート、頭部用エッグショックパッドはベビーカー本体に取り付けられています。

- 組み立てる前に、クイックスタートガイドの「品質保証書」に次の項目を記入してください。
 - ①製品名、ロットNo.
(車体後側から見て右のパイプに貼ってあるシールに記載されています。)
 - ②お客様のお名前・ご住所・電話番号
 - ③販売店名
- クイックスタートガイドにある「品質保証書」のレシート貼り付け欄にレシート（領収書）をお貼りください。

安全にご使用いただくために

表示	表示の内容
⚠警告	誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり、物的損害の可能性があります。

●お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。

⚠	警告 / 注意をうながす内容があることを告げるものです。
×	禁止行為であることを告げるものです。
ワンポイント	補足説明

⚠警告 取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

●破損や異常が発生した場合は、ただちに使用を中止して当社コンシューマーブラザにご連絡ください。

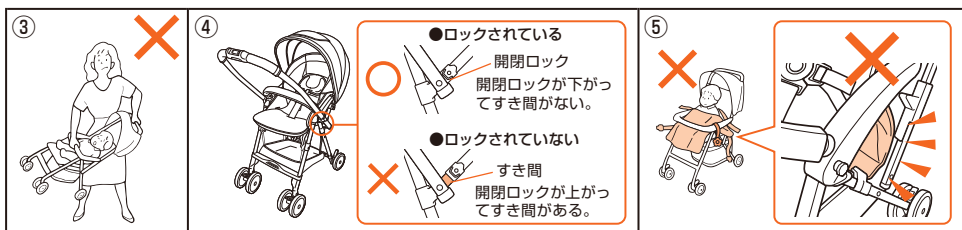
お子さまが落ちるおそれがあります。

- 必ずシートベルトを締め、正しく着用してください。肩・腰バックルを股バックルに取り付け後、ベルトを強く引っ張り、確実に取り付けられていることを確認してください。また、シートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。(①)
- お子さまは月齢が高くなるにつれ、周囲への好奇心が旺盛になります。力も強くなり自分でシートベルトをはずすおそれがありますので、常にお子さまの状態を確認してください。
- お子さまをベビーカーの中で立たせないでください。(②)



お子さまが落ちたりベビーカーが折りたたまれるおそれがあります。

- お子さまを乗せたまま、ベビーカーを持ち上げないでください。(③)
- 開閉ロックが確実にかかっていること（ベビーカーが完全に開いた状態であるか）を確認してから使用してください。(④)
- ベビーカーの開閉時やハンドル切り替え時に、ベビーカーの着脱シートやシートベルト、ブランケット、おもちゃなどをベビーカー本体にはさみ込まないよう十分注意してください。開閉ロックがかからず折りたたまれたりするおそれがあります。(⑤)



ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。

- カゴ以外のところに荷物をのせたり、ハンドルに荷物をつるさないでください。ベビーカーが不安定になり転倒してお子さまが落下するおそれがあります。また、ハンドルに寄りかかったり、ハンドルを無理に押し下げるなど、過度の荷重はかけないでください。破損・故障の原因となります。(⑥)
- 排水溝のふた（グレーチング）や踏切、路面の溝など、溝がある路面を通るときは、溝に車輪をとられたりはさまったりするおそれがあります。十分注意して進んでください。(⑦)
- 車輪が溝にはさまったときは、はさまった方のフレーム（パイプ）とハンドルを持って、車輪を引き上げてください。その際、お子さまや荷物が乗っている状態では、ベビーカー全体を持ち上げないでください。(⑧)
- ベビーカーに同時に2人以上のお子さまを乗せたり、お子さまをシート以外のところに乗せないでください。(⑨)
- 無理な段差の乗り越えは、前輪に衝撃が加わり、ベビーカーが転倒するおそれがあります。また、破損・故障の原因となります。縁石などの段差を乗り越える場合は、わずかな段差でもいったん止まり、後脚ステーに足をかけてハンドルを手前に引き、必ず前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。(⑩)
- お子さまを乗せ降ろしする際は、ベビーカーが不安定になり転倒するおそれがありますので、しっかりと支えてください。また、ハンドルに寄りかかったり、ハンドルを無理に押し下げるなど、過度の荷重はかけないでください。破損・故障の原因となります。
- ホームと電車との段差やすき間に車輪がはさまったり、引っかかったりしてベビーカーが転倒するおそれがあります。電車から降りる際は、使用者が先に降りると電車とホームのすき間を確認しやすくなります。十分注意して乗降してください。
- 階段、エスカレーター、大きな段差のあるところ、また、砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路では使用しないでください。
- 坂道ではハンドル切り替え操作を行わないでください。思わぬ方向に動き出すおそれがあります。



**警告****取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。****ベビーカーが動き出したり、転倒するおそれがあります。**

- 停止中は必ずストッパーをかけてください。ストッパーをかけていても、動き出したり転倒するおそれがあります。(11)
- お子さまを乗せたまま、ベビーカーから離れないでください。(12)
- ベビーカーは空車であっても坂の途中、車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。(13)
- この製品はランニングやスケートに適していません。

**お子さまが指や手をはさんだり、ケガをするおそれがあります。**

- お子さま自身での乗り降りは、転倒や指はさみなどの危険がありますのでおやめください。(14)
- ベビーカーの開閉やリクライニング操作時、ハンドル切り替え、幌の開閉など、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- 部品、同梱品、オプションは純正品のみを使用し、当社指定の製品または部品以外は使用しないでください。非純正部品の取り付けによりベビーカーのバランスが崩れて転倒するなど、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 着脱シートを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。すき間に手や足などをはさむおそれがあります。
- 小さな部品は窒息の危険があるため、必ずお子さまの手の届かない場所に保管してください。
- 窒息の危険を防ぐため、ビニール袋はすぐにお捨てください。
- ベビーカーを火気、高温、プール、または電源の近くに置かないでください。

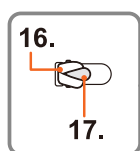
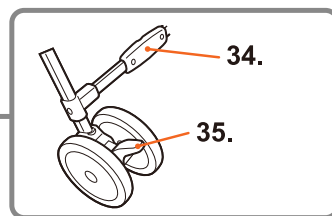
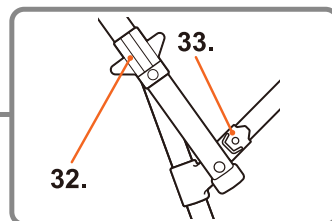
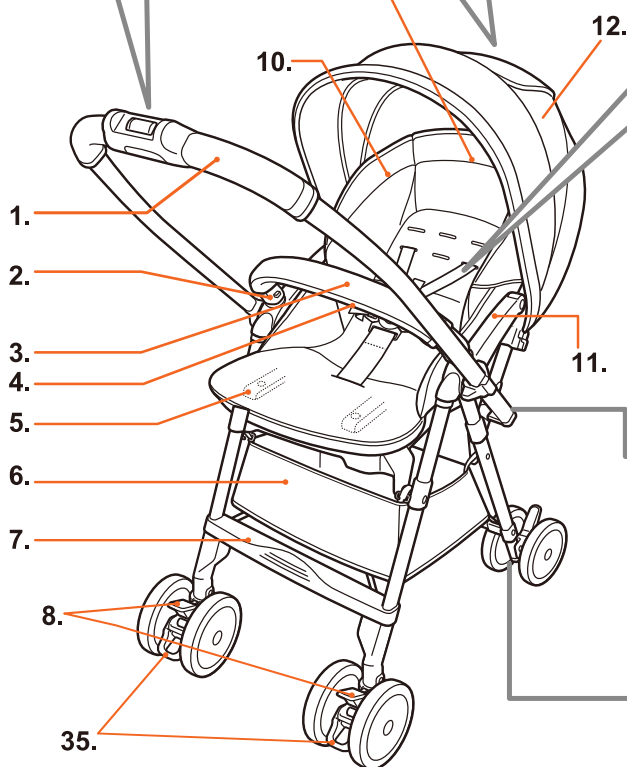
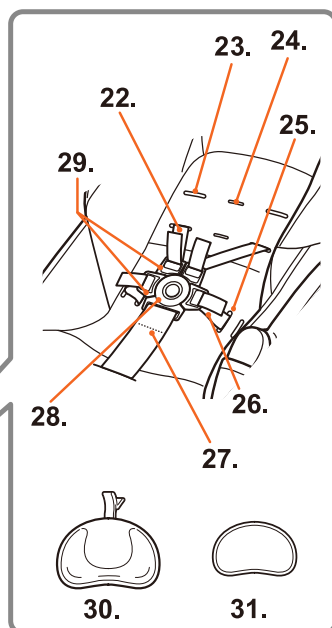
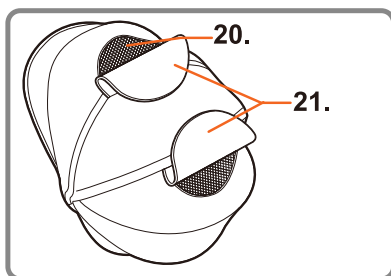
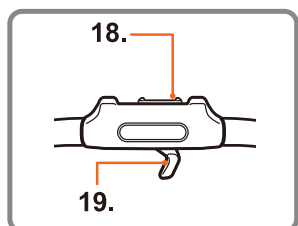


⚠️注意

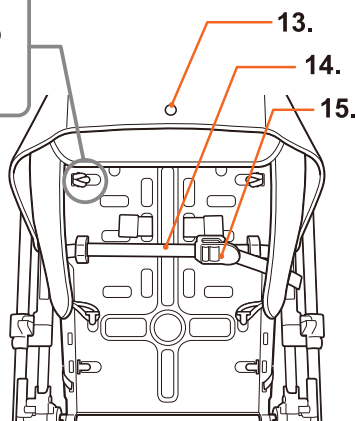
取り扱いを誤ると傷害を負ったり、ベビーカーが破損するおそれがあります。

- お子さまを乗せる以外の目的で使用しないでください。目的外の使用では破損などのおそれがあります。
- お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながります。
- ベビーカーに大人が腰かけたり、過度の荷重を加えないでください。破損、故障の原因となります。
- ベビーカーを押すときは走らないでください。走るとキャストの動きが悪くなったり、転倒などの事故につながるおそれがあります。
- 出荷時に取り付けられている部品および当社指定の部品以外は使用しないでください。破損・故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。ベビーカーだけでなく使用者も転倒するおそれがあります。
- 風の強いとき、雷のときは使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 夏季の晴天日中などは、路面の影響によりベビーカー内の温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。
- ベビーカーを保管するときは横向きにせず、上に荷物などを重ねないでください。また、ベビーカーを立てた状態で保管する場合は、必ずストッパーをかけてください。
- 製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ご使用の前に、締結部品などにゆりみがないか確認してください。ゆりみがある場合は使用せず、必ず当社コンシューマープラザにご連絡ください。重大な事故につながるおそれがあります。
- 長時間の使用禁止
長時間連続してのご使用は、お子さまの負担となります。1時間以内で休憩をとるなどしてください。
- 鉄道やバスの中での使用について
本製品は、鉄道やバスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を鉄道やバスの中で使用するときは、カーブやブレーキなどで転倒するおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、お子さまに肩と腰のシートベルトを装着の上、十分注意してご使用ください。また、事前に各鉄道、バス事業者が示すベビーカー利用の可否、方法をご確認ください。ご利用条件を満たさないときは、ご使用になれません。なお、ご利用条件を満たす場合でも、鉄道やバスの中でベビーカーを使用した際の安全を保証するものではありません。
- お子さまの足が車輪や地面につく場合は使用しないでください。足をケガするおそれがあります。
- 坂道の走行では、不安定なため転倒するおそれがあります。速度を落とし、十分注意して走行してください。
- フロントガードを引っぱって使用したり、ふりまわしたりしないでください。破損やお子さまのケガの原因となります。
- フロントガードには過度の力を加えないでください。また、必要以上に広げたりしないでください。故障や破損の原因となります。
- 背もたれを1番倒した状態でお子さまが窮屈な場合は、背もたれを中間位置まで起こしてご使用ください。ただし、この方法は首がすわってからのお子さまに限ります。
- お座りができないお子さまの場合は、背もたれを倒した状態でご使用ください。
- お子さまの頭がシート上部の壁面にあたる場合は、ヘッドレストが起き上がらない位置まで背もたれを起こして使用してください。
- お子さまを乗せたまま背もたれを倒すときは、必ずお子さまの体を支えてください。
- カゴには鋭利なものや大きすぎるものを入れないでください。カゴが損傷するおそれがあります。

各部のなまえ



背もたれ部



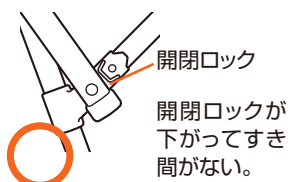
1. ハンドルグリップ
2. ガードボタン
3. フロントガード
4. ガードカバー
5. フットサポートバー
6. カゴ
7. ステップ
8. キャスターロックレバー
9. ヘッドレスト
10. 着脱シート
11. アームレスト
12. 幌
13. 幌フック
14. リクライニングベルト
15. リクライニングバックル
16. 着脱シート取付ゴム
17. 着脱シート取付ゴム用フック
18. 手元ロックスライダー
19. 折りたたみレバー
20. 幌窓
21. 窓カバー
22. シートベルト (肩ベルト)
23. 肩ベルト通し穴 (上下)
24. ヘッドサポート通し穴 (上下)
25. 腰ベルト通し穴
26. シートベルト (腰ベルト)
27. シートベルト (股ベルト)
28. 股バックル
29. 肩・腰バックル
30. ヘッドサポート
31. 頭部用エッグショックパッド
32. ハンドルロック
33. 開閉ロック
34. 後脚ステップ
35. ストッパー

ベビーカーの開きかた

⚠ 警告

- ベビーカーを開くときには、そばに人（特に小さいお子さま）を近づけずに行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- ベビーカーを開いた後、開閉ロックがかかっていることを必ず確認してください。急に折りたたまれるおそれがあります。（右図参照）
- 手元ロックスライダーが元の位置に戻り、折りたたみがロックされていることを確認してください。

- ロックされている



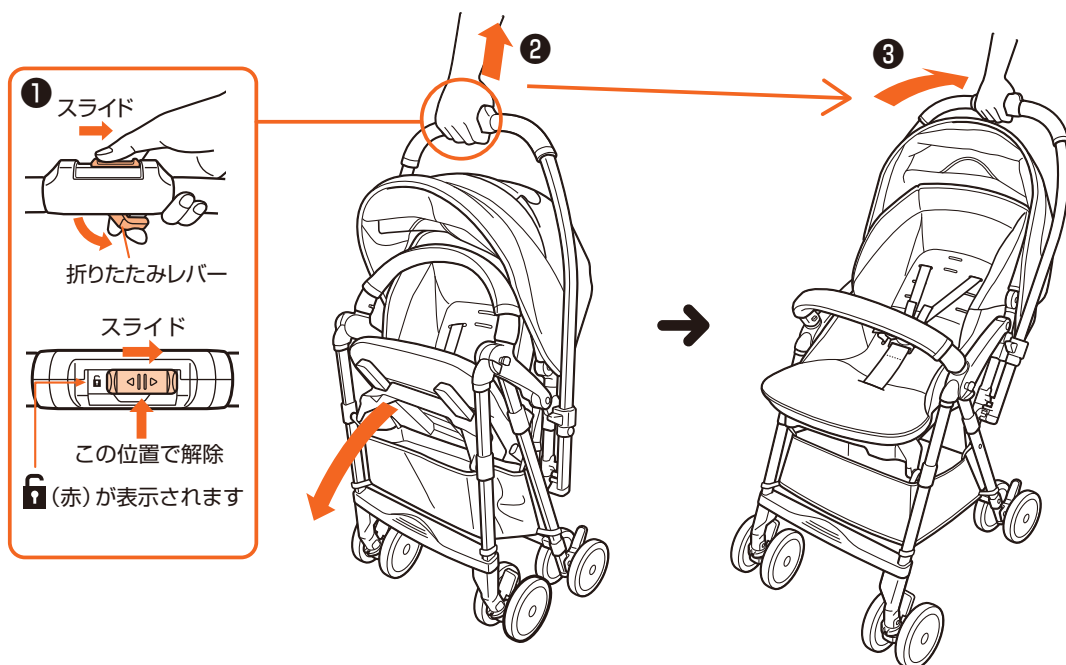
- ロックされていない



⚠ 注意

- お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ベビーカーを持ち上げた状態で、折りたたみレバーを握りロックを解除すると、破損のおそれがあります。
- 手元ロックスライダーをスライドさせずに折りたたみレバーを握らないでください。無理に握ると破損するおそれがあります。

- ①手元ロックスライダーを矢印方向にスライドさせながら折りたたみレバーを握る。
- ②ハンドルを持ち上げる。
- ③そのまま弾みをつけてハンドルを手前に倒す。



ワンポイント



ベビーカーを地面につけた状態から折りたたみレバーを握り操作してください。ベビーカーを持ち上げた状態ではベビーカーを開くことができません。

対面・背面の使いかた

⚠ 警告

- ハンドルを切り替えるときは、お子さまがアームレストに手をかけていないことを確認してから行ってください。指や手をはさむおそれがあります。

⚠ 注意

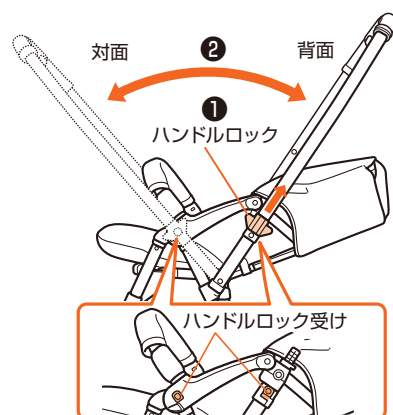
- ハンドルを切り替えるときは、お子さまの正面側からお子さまの様子を確認しながら、操作してください。
- 危険ですからベビーカーを押しながら操作しないでください。
- 車体を開閉するときは、ハンドルロックは操作しないでください。ベビーカーが故障するおそれがあります。

ハンドルの切り替えかた

- ① 左右のハンドルロックを上引き上げ、ロックを解除する。

※ ハンドル切り替えの操作（ハンドルロックの解除）をするときは、必ずベビーカーを開いてから

- ② ハンドルの向きを変えた側のハンドルロック受けにしっかりとロックする。



ワンポイント



ハンドルを切り替えた後、次の点を確認してください。

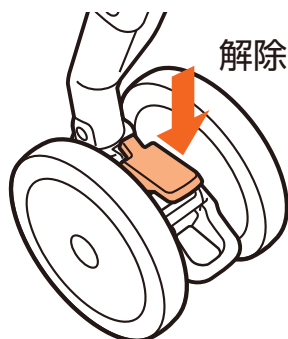
- ① 左右のハンドルロックがロック受けにかかっている。
- ② ハンドルを上下させても動かない。

キャスターロックレバーの使いかた

●坂道や凹凸のある路面では、一時的に進行方向側のキャスターを左右ともロックすると押しやすくなります。

キャスターを使用する場合

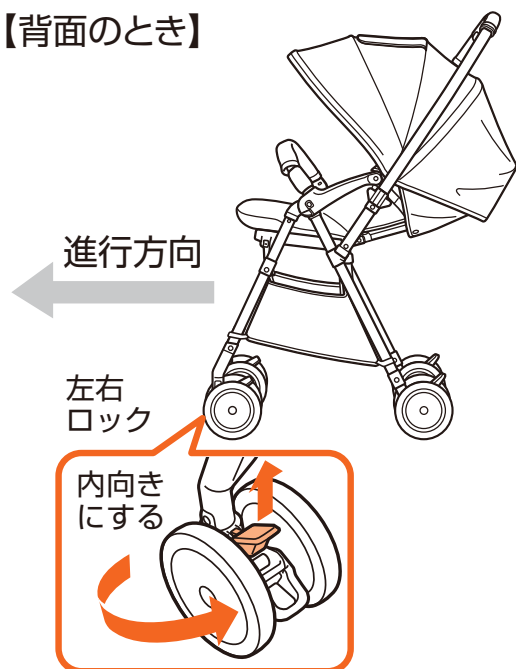
左右のキャスターロックレバーを下げ、ロックを解除する。



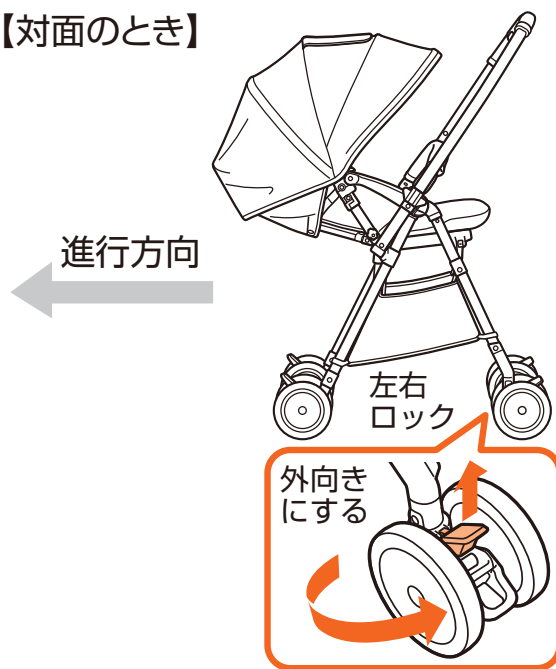
キャスターを使用しない場合

坂道や凹凸のある路面を押すときは、左右のキャスターロックレバーを上げてロックする。

【背面のとき】



【対面のとき】



ストッパーの使いかた

- ベビーカーを停止させているときには、必ず押す人側のストッパーのロックをかけてください。
- ストッパーとキャスターロックレバーは別の機能です。

⚠ 警告

- 停止中は必ずストッパーをかけてください。ストッパーをかけていても、動き出したり転倒するおそれがあります。
- お子さまを乗せたままベビーカーから離れないでください。また、ストッパーは左右ともかけて使用してください。ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。

⚠ 注意

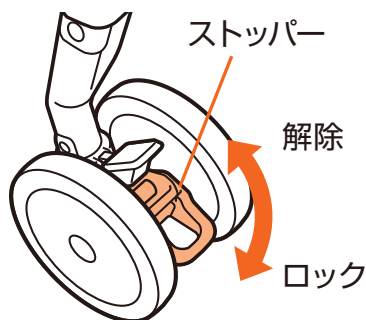
- 空車であっても、ベビーカーから離れるときは必ず左右ともストッパーのロックをかけてください。ストッパーのロックが不完全な場合、動き出すことがあります。

ストッパーをロックするとき

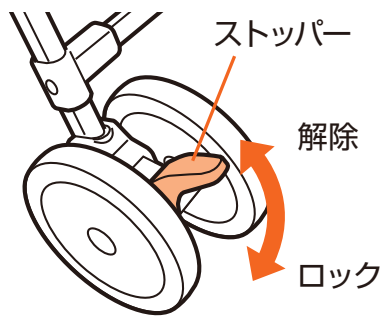
1. 押す人側の車輪の左右のストッパーを押し下げてロックする。
2. ベビーカーを軽く前後に動かして、ストッパーのロックがかかっていることを確認する。

ストッパーのロックを解除するとき

ストッパーを押し上げる。



【前輪】



【後輪】

ステップの使いかた

- 縁石などの段差は、ステップに足をかけて乗り越えることができます。

⚠ 警告

無理な段差の乗り越えは、前輪に衝撃が加わり、ベビーカーが転倒するおそれがあります。また、破損・故障の原因となります。

縁石などの段差を乗り越える場合は、いったん止まり、段差を乗り越えてください。

また、使用者が先に段差に上がるなどの方法で段差を乗り越えてください。

- ①わずかな段差でもいったん止まる。
- ②対面使用時はステップ、背面使用時は後脚ステアーにある後脚ステップに足をかける。
- ③ハンドルを手前に引き、必ず前輪を浮かせて段差を乗り越える。



フロントガードの使いかた

⚠ 警告

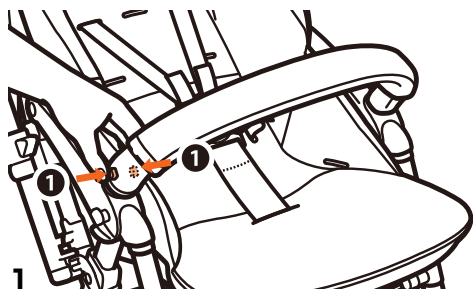
- フロントガードに関係なく、お子さまを乗せるときには必ずシートベルトを締めてください。フロントガードはお子さまの抜け出しや立ち上がりを防止するものではありません。
- ベビーカーを開いた状態でフロントガードをつかんでベビーカーを持ち運ばないでください。手がすべったり、フロントガードが抜け落ちる可能性があります。
- お子さまを乗せた状態ではフロントガードをつかんでベビーカーを持ち運ばないでください。手がすべったり、フロントガードがはずれお子さまがケガをする可能性があります。

⚠ 注意

- フロントガードの片側をはずした状態でフロントガードを引っぱって使用したり、ふりまわしたりしないでください。破損やお子さまのケガの原因となります。
- フロントガードには過度の力を加えないでください。また、必要以上に広げたりしないでください。故障や破損の原因となります。
- フロントガードをはずした状態で保管しないでください。フロントガード本体の変形の原因となります。

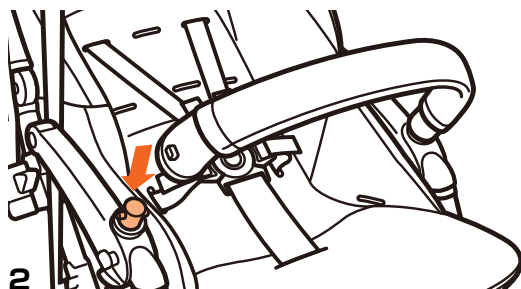
1.フロントガードの開きかた

2つのガードボタン(❶)を押しながら
まっすぐ上に引き抜く



2.フロントガードの取り付けかた

フロントガード用突起にあわせて押し込む。



ワンポイント



- ガードボタンがねじれていると、ガードが開かない場合があります。内側と外側のガードボタンを水平にしてガードボタンを押してください。
- ガードカバーははずすことができます。お子さまをベビーカーに乗せるときには、ガードカバーをつけてお使いになることをおすすめします。

幌の使いかた

⚠ 警告

幌を開閉するときは、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。指や手をはさむおそれがあります。

①大きなサイズで使用するとき

両手で幌フレームを持ち、幌を前に広げる。

②小さなサイズで使用するとき

使用する手順を逆に行って、幌フレームを一番後側にまとめる。

③幌窓の使いかた

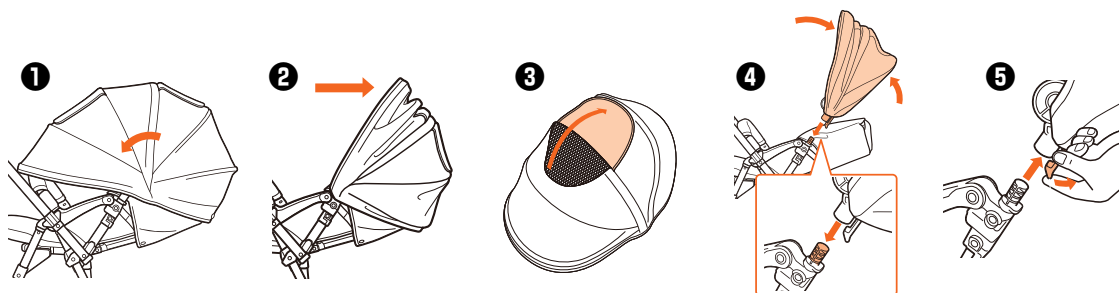
窓カバーを開けると、お子さまの様子を見ることができます。

④幌の取り付けかた

幌をたたみ、幌ジョイントを幌ホルダーにしっかり差し込む。

⑤幌のはずしかた

幌ジョイントの下端のツメを指先で手前に引きながら、幌ホルダーから引き抜く。



シートベルト (股ベルト・腰ベルト・肩ベルト) の使いかた

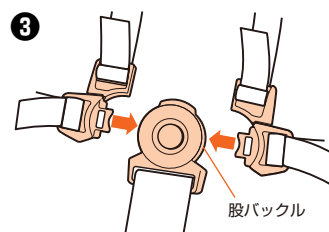
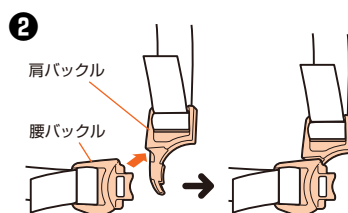
⚠ 警告

- 必ずシートベルトを締め、正しく着用してください。肩・腰バックルを股バックルに取り付け後、ベルトを強く引っ張り、確実に取り付けられていることを確認してください。また、シートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。
- シートベルトの長さはお子さまの体にあわせて調節し、抜け出さないようにしっかりと締めてください。シートベルトが長すぎるとお子さまの首に巻き付くおそれがあります。
- お子さまを乗せたまま背もたれを倒す場合、必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。操作後は肩ベルトを適切な長さに調節してください。
- 肩ベルトを差し込みバックルに取り付ける際に、左右のベルトを交差させないでください。お子さまの首を圧迫するおそれがあります。

シートベルトの締めかた、はずしかた

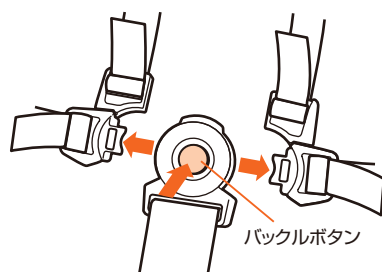
シートベルトを締めるとき

- ①お子さまをベビーカーに座らせ、お子さまの肩に左右の肩ベルトをあわせる。
- ②肩バックルを腰バックルに重ねる。
- ③股バックルを引き出し、股バックルの左右に重ねた肩と腰バックルを差し込み、「カチッ」と音がすることを確認する。
- ④肩ベルト、腰ベルトを引っばって、はずれないことを確認する。



シートベルトをはずすとき

バックルボタンを押す。



ワンポイント



- 背もたれを頻繁に倒したり起こしたりする月齢期は、下の肩ベルト通し穴を使用してください。肩ベルト通し穴の位置を変えるときは、「肩ベルトを取り付けるとき」(16ページ)をご覧ください。
- 長さ調節時にシートベルトを肩・腰バックルからはずしたときは、「肩・腰ベルトをバックルへ取り付けるとき」(15ページ)をご覧ください。取り付けかたが不完全な場合、使用中にベルトが抜けるおそれがあります。
- 肩・腰バックルをはずしづらい場合は、バックルボタンの両側を交互に押して、片側ずつはずしてください。

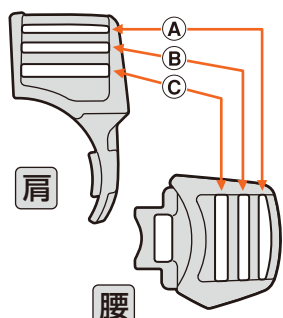
シートベルトの調節のしかた

肩・腰ベルトの長さを調節するとき

⚠ 警告

- 肩・腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調節してください。使用中に肩・腰ベルトが抜けて、お子さまが落ちるおそれがあります。
- 取り付け後、肩・腰ベルトを強く引っ張り、それぞれのバックルから抜けないことを確認してください。

肩・腰バックルのベルト通し（ABC）



① 締めるとき

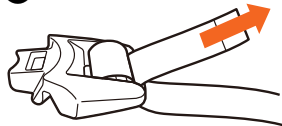
ベルトの先端を矢印の方向に引く。

② ゆるめるとき

バックル表側からベルトを矢印①の方向に引き、ベルトをゆるめる。

バックル裏側を通るベルトを矢印②の方向に引く。

①



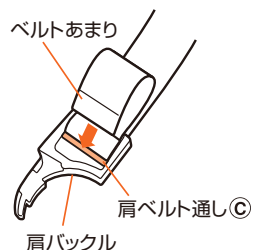
②



ワンポイント



- ベルトの調節の目安がわからない。
→ お子さまとベルトの間に、大人の指の第2関節が入るくらいのすき間が目安です。
- 肩ベルトの先端がお子さまの顔の付近にくるときや、お子さまが引っばって遊んでしまうときは、肩バックルのベルト通しC部分に通して使えます。



股ベルトの長さを調節するとき

① 締めるとき

ベルトの先端を矢印の方向に引く。

② ゆるめるとき

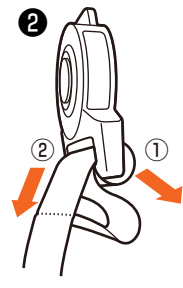
股バックル裏側からベルトを矢印①の方向に引き、ベルトをゆるめる。

股バックル表側を通るベルトを矢印②の方向に引く。

①



②



ワンポイント



股ベルトは、取りはずしできません。

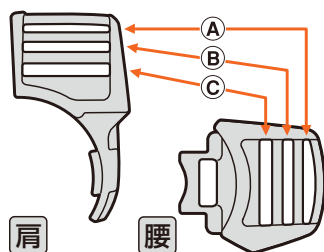
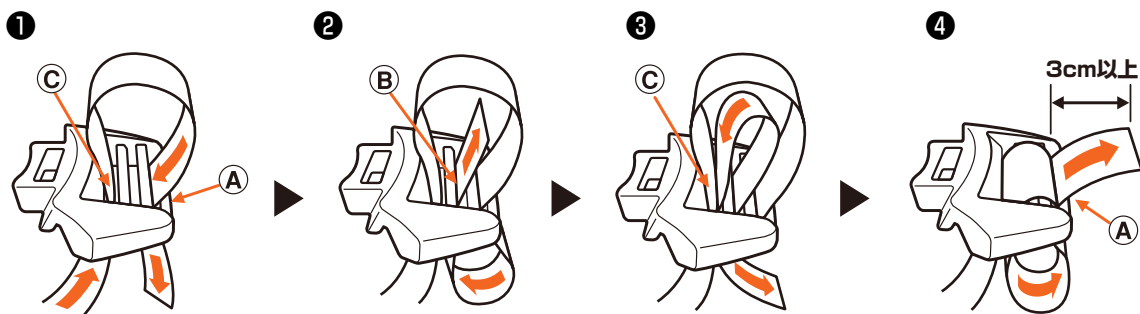
シートベルトの取り付けかた

肩・腰ベルトをバックルへ取り付けるとき

⚠ 警告

- 肩・腰バックルへのベルトの取り付けかたが不完全な場合、使用中にベルトが抜けるおそれがあります。
- ベルトを肩・腰バックルに取り付け後、ベルトを強く引っ張り、確実に取り付けられていることを確認してから、使用してください。

- ① バックルのベルト通し③にベルトを通し、ベルト通し④にベルトを通す。
- ② ベルト通し⑤にベルトを通す。
- ③ ベルト通し③にベルトを通す。
- ④ ベルト通し④にベルトを通す。(ベルト通し④と③にはベルトが2重に通ります)

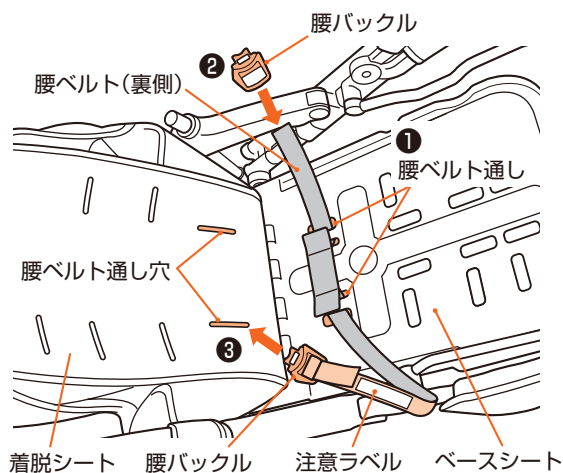


肩・腰バックルのベルト通し
(A B C)

※肩・腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調節してください。
※腰バックル右側でイラスト表現しています。

腰ベルトを取り付けるとき

- ①腰ベルトの裏側を上にして、ベースシートの腰ベルト通し(2カ所) にベルトを図のように通す。
 - ②腰バックルを腰ベルトに取り付け、
 - ③着脱シートの腰ベルト通し穴に通して取り付ける。
- ※注意ラベルのある側が表側です。

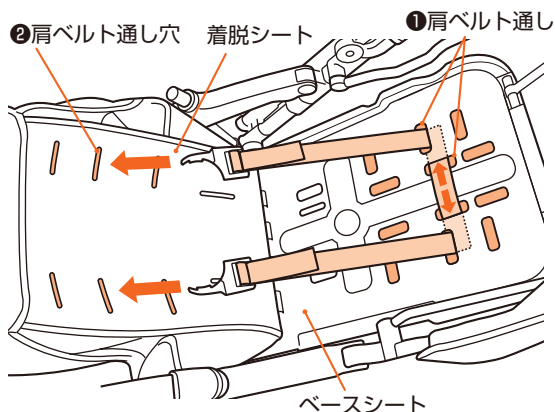


ワンポイント

腰バックルの腰ベルトへの取り付けかたは、15ページの「肩・腰ベルトをバックルへ取り付けるとき」をご覧ください。

肩ベルトを取り付けるとき

肩ベルトは、ベースシート側のベルト通し①に図のように通し、着脱シート側の肩ベルト通し穴②に通して、取り付ける。



ワンポイント

- 着脱シートの肩ベルト通し穴上下位置は、ベースシートと同じ高さのベルト通し穴を通してください。上下を間違えて取り付けると、ベルト長さが足りなくなるおそれがあります。
- 背もたれを頻繁に倒したり起こしたりする月齢期は、下の肩ベルト通し穴を使用してください。

リクライニングの使いかた

⚠ 警告

- リクライニング操作時は、そばに人（特に小さいお子さま）を近づけずに行ってください。指や手をはさむおそれがあります。
- お子さまを乗せたままリクライニング操作する場合、背もたれを倒すときは必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。
- リクライニング操作後は、シートベルトを適切な長さに調節してください。

⚠ 注意

- ベビーカーを押しながらリクライニング操作をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お子さまを乗せたままリクライニング操作するときは、急にリクライニング角度が変わらないように十分ご注意ください。
- お子さまを乗せたまま背もたれを倒すときは、必ずお子さまの体を支えてください。
- お座りができないお子さまの場合は、最も倒した状態から中間位置まで起こした状態でご使用ください。

① 背もたれの倒しかた

リクライニングバックルを起こしながら左に移動させる。お子さまを乗せたまま操作するときは、他方の手で必ずお子さまの体を支える。

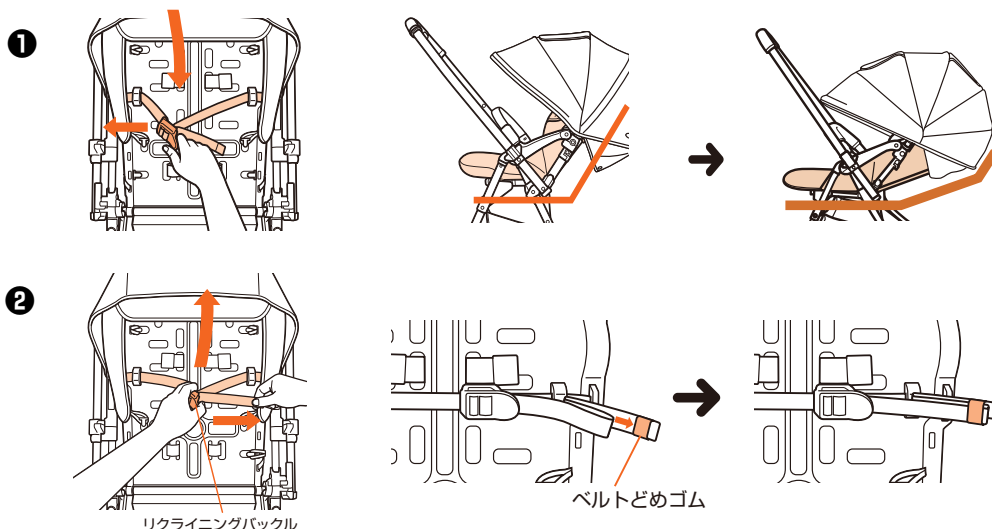
② 背もたれの起こしかた

片方の手でリクライニングバックルを起こしながら、リクライニングベルトを右に引っばる。リクライニングベルトがあまった場合は、ベルトどめゴムでまとめることができます。

ワンポイント



- 1人でお座りができるお子さまでヘッドレストの位置に頭がくる場合には、背もたれを倒したときに無理な姿勢になりますので、ヘッドレストが起き上がらない位置でとめてください。
- お子さまの体重を背もたれにかけたままでは、起こすことができません。



●リクライニングの使いかたの目安

- ・1ヵ月～首がすわるまで → 背もたれは最も倒した状態
- ・首がすわってから、1人でお座りができるまで → 背もたれは最も倒した状態から中間位置まで起こした状態
- ・1人でお座りができるようになったら → 背もたれは最も倒した状態から最も起こした状態

●背もたれを最も寝かせて使うと、シートが狭く感じる

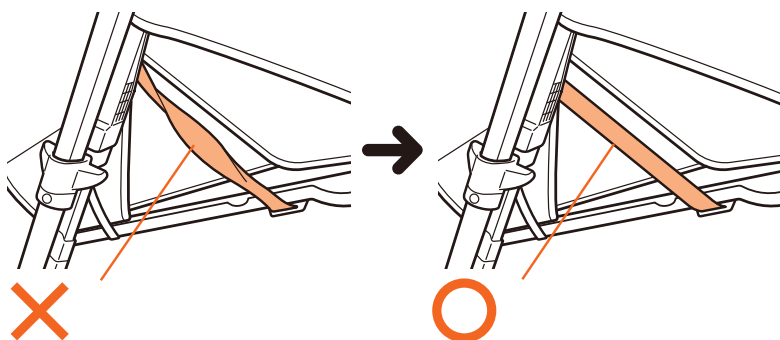
→ お子さまの首がすわってからに限り、背もたれを中間位置まで起こしてご使用ください。

●リクライニングの操作がしにくい

リクライニングベルトがねじれている場合があります。

ねじれたリクライニングベルトは、以下の手順でなおすことができます。

- ①背もたれを1番下まで倒し、ねじれている部分を確認する。
- ②ねじれをとり、リクライニングベルト全体をねじれのない状態にする。



フットサポートバーの使いかた

⚠ 注意

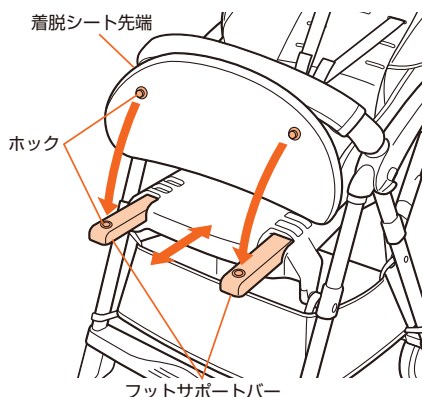
フットサポートバーを使用するときは、必ずホックをとめてください。
破損やお子さまのケガの原因となります。

使用するとき

- ①着脱シート先端を持ち上げ、ベースシートの座面からフットサポートバーを引き出す。
- ②着脱シートをのせ、ホック (2ヵ所) をとめる。

収納するとき

着脱シートのホックをはずし、フットサポートバーを座面の中に押し込む。



折りたたみかた

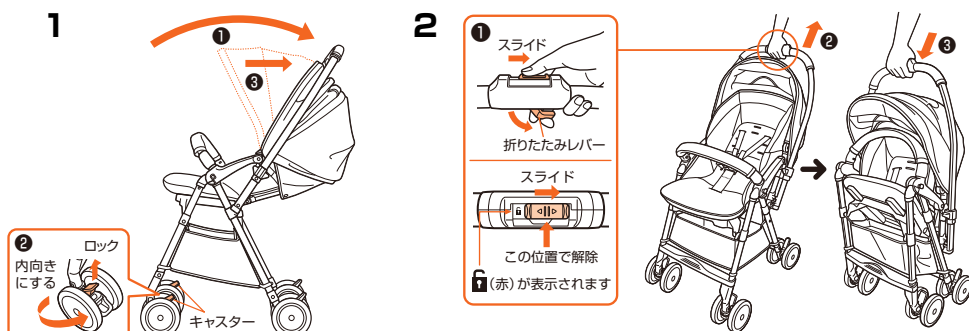
⚠ 警告

- ベビーカーを折りたたむときには、そばに人（特に小さいお子さま）を近づけずに行ってください。指や手をはさむおそれがあります。

⚠ 注意

- 折りたたみ後、手元ロックスライダーがロックされているか確認してください。また、折りたたみ操作時以外は握らないでください。
- 手元ロックスライダーをスライドさせずに折りたたみレバーを握らないでください。無理に握ると破損するおそれがあります。
- 何かに引っかかっていたり、はさみ込まれている感じがあった場合には、1度開いて原因を確認してください。無理に折りたたむと破損するおそれがあります。
- カゴに荷物を入れたままベビーカーを折りたたむときは、無理なく折りたたみできることを確認してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因となります。変形ややぶれやすい荷物は避けてください。
- 荷物を入れたまま折りたたむ場合は、荷物を入れていない状態に比べて転倒しやすくなります。また、荷物を入れたまま折りたたむ際は、開閉ロックがしっかりかかっていることを確認してください。
- 折りたたむときは、幌がたたまれ、後側にまとめられていることを確認してください。幌の変形や破損の原因になります。
- 車のトランクなどに入れる場合は、幌に負荷がかからないようにしてください。変形や破損の原因になります。
- 折りたたむときは、キャスターを内向きにロックしてください。キャスターが内向きにロックされていないと、折りたたんだ状態でベビーカーが倒れやすくなるおそれがあります。

- ①ハンドルを背面位置にする。（「ハンドルの切り替えかた」8ページをご覧ください）
②キャスターをロックする。
③幌をたたんだ状態にする。
- ①手元ロックスライダーを矢印方向にスライドさせながらレバーを握り、
②ハンドルを引き上げ、
③十分引き上げたら、そのままハンドルを押し下げる。



ワンポイント



- 折りたたむとき、「カチッ」とロックする音を確認してください。また、ベビーカーのハンドルを少し持ち上げて確実にロックされていることを確認してください。
- 背もたれを起こした状態で折りたたみにくいと感じたときは、背もたれを倒すと折りたたみやすくなります。
- 後輪を支点にして、車体を手前に傾けても、折りたたむことができます。

カゴの取り付けかた

⚠ 注意

- ・耐荷重以上の荷物はのせないでください。破損の原因となります。
- ・固定用ベルトやU字フック付き固定用ベルトは指定の位置にしっかり取り付けてください。
- ・角のとがったものや、カゴからはみ出す容積の大きいものは入れないでください。荷物の落下やカゴの変形およびやぶれの原因となります。

●カゴに荷物を入れたままベビーカーを折りたたむとき

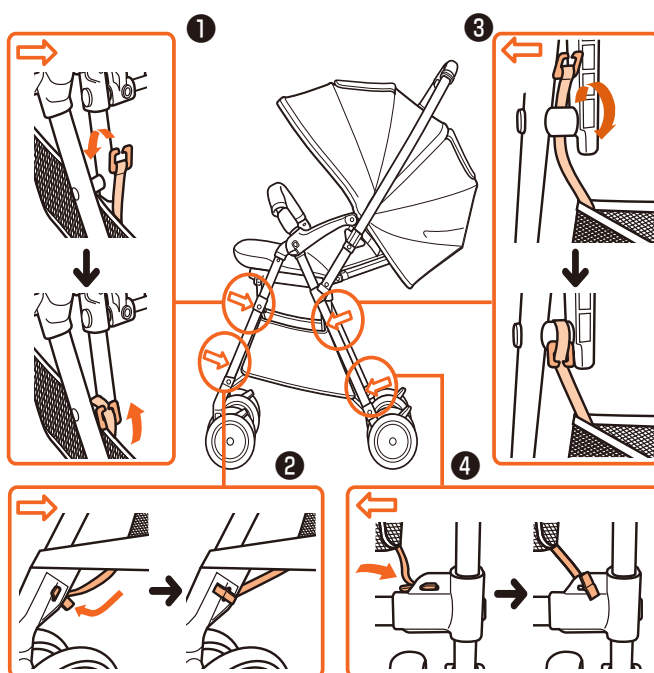
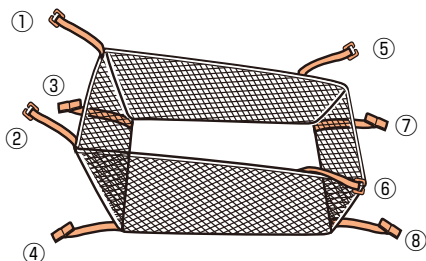
- ・無理なく折りたたみできることを確認してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因となります。
- ・変形ややぶれやすい荷物は避けてください。
- ・荷物を入っていない状態に比べて転倒しやすくなります。
- ・荷物を入れたまま折りたたんだ後や、荷物を入れた状態からベビーカーを開いた後は、開閉ロックがしっかりかかっていることを確認してください。

- ①カゴのU字フック付き固定用ベルト①、②をフレームホルダーに巻きつけて、U字フックにとめる。
- ②カゴの固定用ベルト③、④をステップ下のベルト通し穴に通してとめる。
- ③カゴのU字フック付き固定用ベルト⑤、⑥をフレームホルダーに巻き付けて、U字フックにとめる。
- ④カゴの固定用ベルト⑦、⑧を後脚ステー左右のベルト通し穴に通してとめる。

耐荷重5kg

前

後



着脱シートのはずしかた、取り付けかた

⚠ 警告

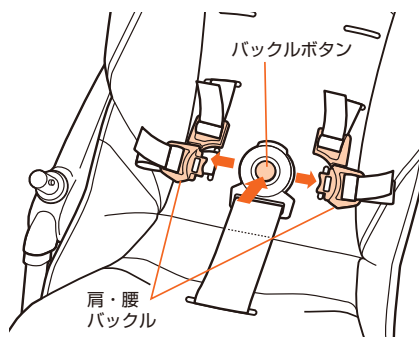
- 着脱シートを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。すき間に手や足をはさむおそれがあります。
- やぶれやほつれの発生した着脱シートはそのまま使用しないでください。中のウレタンをお子さまが飲み込んだり、着脱シート本来の機能が果たせなくなるおそれがあります。
- 着脱シートを取り付ける際に、ホック類を確実にセットしてください。取り付けが不完全の場合、ケガややぶれなどの原因となります。

※着脱シートについて

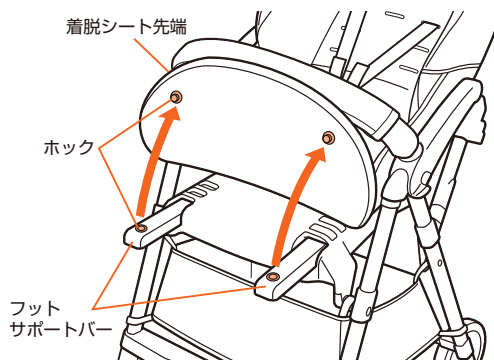
お子さまの服や靴に面ファスナーが付いている場合は、シートに面ファスナーが付着しないように気を付けてください。

はずすとき

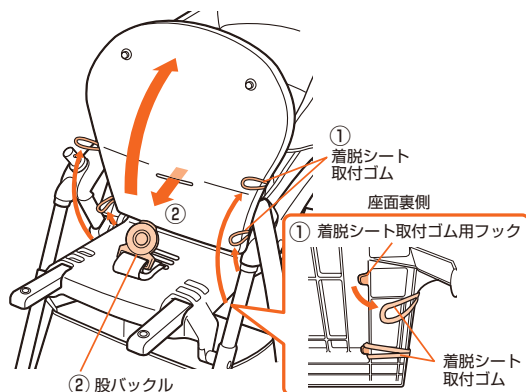
- ①バックルボタンを押して、バックルから肩・腰バックルをはずす。



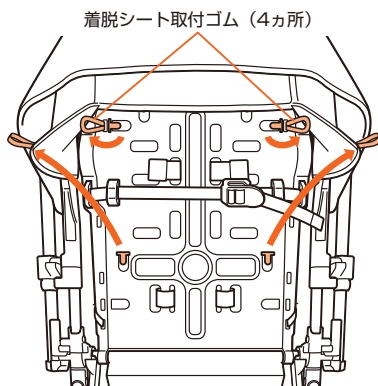
- ②フットサポートバーを使用しているときは、着脱シート先端のホック（2カ所）をフットサポートバーからはずす。



- ③①ベースシートの座面裏側の着脱シート取付ゴム用フックから着脱シート取付ゴム（4カ所）をはずし、②着脱シートから股バックルを引き抜く。

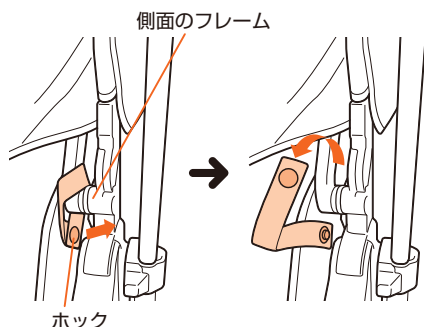


- ④着脱シート両側の着脱シート取付ゴム（4カ所）をベースシートの着脱シート取付ゴム用フックからはずす。

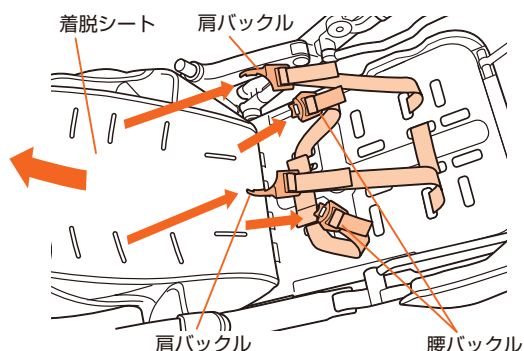


次ページに続く

- ⑤側面のフレームにとめてあるベルトの
ホック（左右）をはずす。

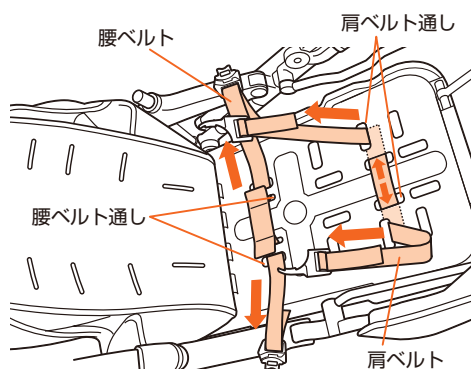


- ⑥腰バックルと肩バックルを引き抜き、
着脱シートをベースシートからはずす。

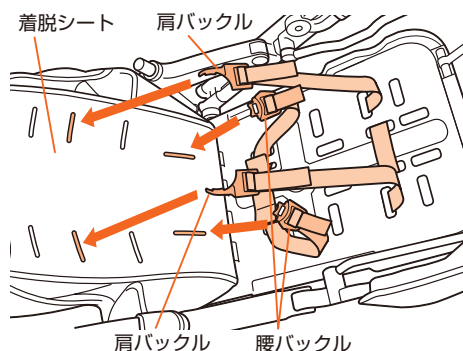


取り付けるとき

- ①ベースシートの腰ベルト通しに腰ベルトを、肩ベルト通しに肩ベルトを通しておく。



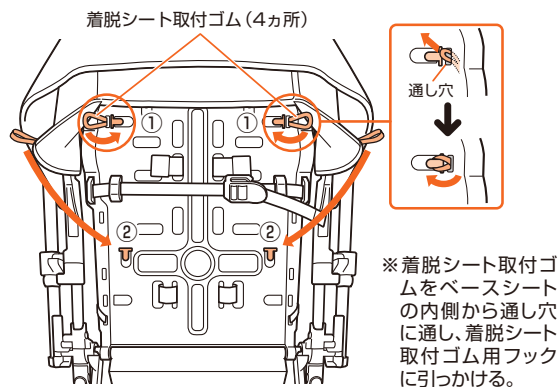
- ②着脱シートのベルト通し穴に腰バックルと肩バックルを通し、着脱シートの表側にベルトの先端を引き出す。



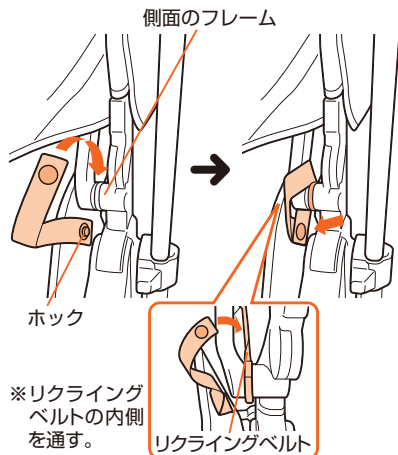
ワンポイント
腰ベルトと肩ベルトの取り付けかたについては、詳しくは16ページをご覧ください。

- ワンポイント
- 着脱シートの肩ベルト通し穴上下位置は、ベースシートと同じ高さの通し穴を通してください。上下を間違えて取り付けると、ベルト長さが足りなくなるおそれがあります。
 - 背もたれを頻繁に倒したり起こしたりする月齢期は、下の肩ベルト通し穴を使用してください。

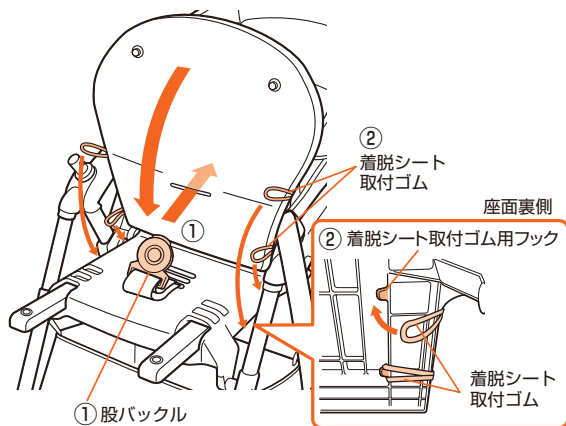
- ③着脱シート両側の着脱シート取付ゴム(4カ所)をベースシートの着脱シート取付ゴム用フックに①→②の順に引っかける。



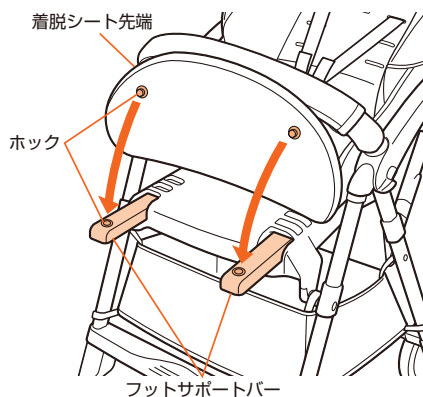
- ④側面のフレームにベルトを巻きつけ、ホック(左右)をとめる。



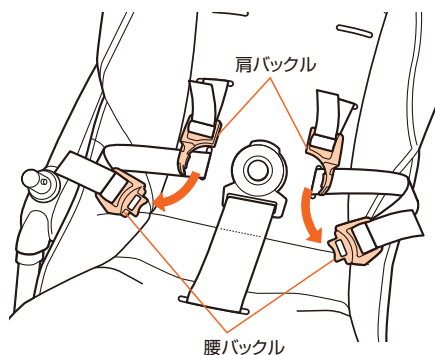
- ⑤①股バックルを着脱シートの表側に引き出し、②着脱シート座面両側の着脱シート取付ゴム(4カ所)をベースシート座面裏側の着脱シート取付ゴム用フックに引っかける。



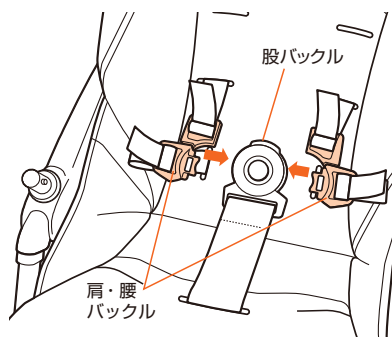
- ⑥フットサポートバーを使用するときは、着脱シートのホック(2カ所)をフットサポートバーのホックにとめる。



- ⑦腰バックルに肩バックルを重ねる。



- ⑧肩・腰バックルを股バックルに差し込む。



折りたたみ時の持ち運びかた

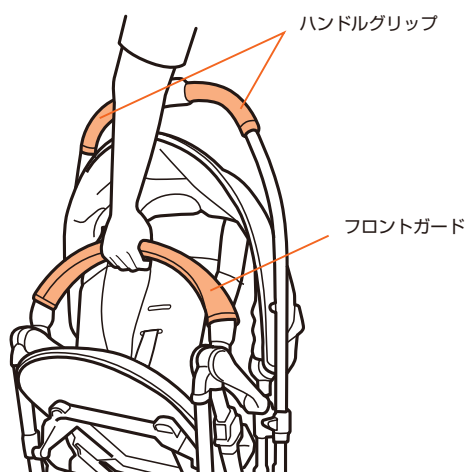
⚠ 警告

- ベビーカーを開いた状態でフロントガードをつかんでベビーカーを持ち運ばないでください。手がすべったり、フロントガードが抜け落ちる可能性があります。
- お子さまを乗せた状態ではフロントガードをつかんでベビーカーを持ち運ばないでください。手がすべったり、フロントガードがはずれお子さまがケガをする可能性があります。

⚠ 注意

- フロントガードをつかんで持ち運ぶ際は、フロントガードがしっかり取り付けられていることを確認してからご使用ください。

折りたたんだ状態で持ち運ぶときは、ハンドルグリップかフロントガードをつかんで持ち運ぶ。



ヘッドサポートの使いかた

⚠ 注意

- 背もたれを起こした状態で使用する際、お子さまの頭がヘッドレストの位置にくる場合には、ヘッドサポートを使用しないでください。
- やぶれやほつれの発生したヘッドサポートはそのまま使用しないでください。中のクッション材をお子さまが飲み込んだり、ヘッドサポート本来の機能が果たせなくなるおそれがあります。

● ヘッドサポートは、お子さまの体格にあわせた取り付け位置でお使いください。

ヘッドサポートの取り付け位置の目安

取り付け時期の目安：生後1ヵ月～7ヵ月ころ

ヘッドサポートは、お子さまの首のあたりにクッションの凸部がくるように取り付けてください。

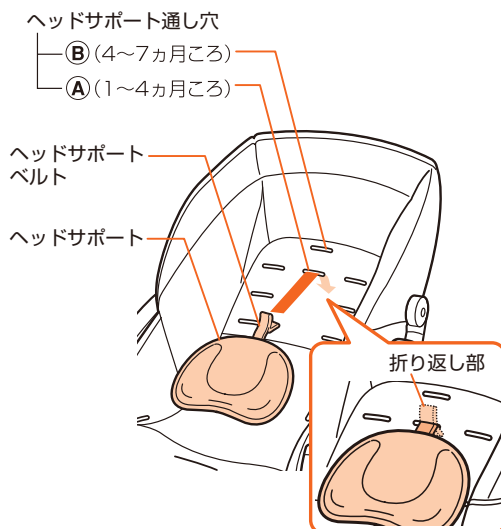
※月齢は目安です。お子さまの発育にあわせてご使用ください。



ヘッドサポートを着脱シートに取り付ける。

ヘッドサポートベルトを、ヘッドサポート通し穴に通し、ベルト先端の折り返し部を通し穴に引っかけて取り付ける。

取り付け後、着脱シートにとまっているか、軽く引っぱって確認する。



ヘッドサポート通し穴①②の目安について

①は1ヵ月～4ヵ月ころまでの月齢のお子さま

②は4ヵ月～7ヵ月ころまでの月齢のお子さま

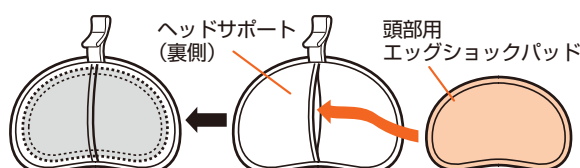
に使用してください。

※月齢は目安です。お子さまの発育にあわせてご使用ください。

頭部エッグショックパッドの取り付けかた

● ヘッドサポートには、走行中のゆれからお子さまを守る“エッグショックパッド”を入れることができます。

ヘッドサポートの裏側から
出し入れする。



縫製品の洗濯について

※幌のプラスチック部分やカゴのU字フックなどでケガをしないように注意してください。

※製品の特性上、若干色あせすることがあります。

※洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。蛍光剤・漂白剤入りの洗剤は肌荒れ、湿疹などのおそれがありますので使用しないでください。

※保管状態により、カビが発生することがあります。こまめに洗濯をし、清潔に保つように心がけてください。

洗濯時は次のことを守ってください。

洗濯上の注意

	液温は40℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯ができる		アイロン仕上げ禁止
	塩素系および酸素系漂白剤の使用禁止		ドライクリーニング禁止
	タンブル乾燥禁止		非常に弱い操作によるウエットクリーニングができる
	日陰のつり干しがよい		

●着脱シート、ヘッドサポート、頭部用エッグショックパッド、肩ベルト、腰ベルト、ガードカバーの洗濯

- ・水、またはぬるま湯で洗濯機の弱水流または手洗いしてください。
- ・洗濯機をご使用のときは、洗濯用ネットに入れてください。ほつれや傷みの原因となります。
- ・きついもみ洗いはしないでください。
- ・色落ちすることがありますので、他の洗濯物とは別に洗ってください。また、つけ置き洗いも避けてください。
- ・十分にすすぎ、軽く脱水した後、形を整えて陰干ししてください。
- ・乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。

●幌、カゴ、股ベルトのお手入れ

- ・幌やカゴ、股ベルトは液中につけず、水、またはぬるま湯の洗剤を付けたブラシやスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
- ・洗剤を使用して汚れを取った後は、水を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
- ・乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。

車体の清掃について

⚠ 注意

車体の清掃は水ぶき以外はしないでください。部品の変質、劣化の原因となります。

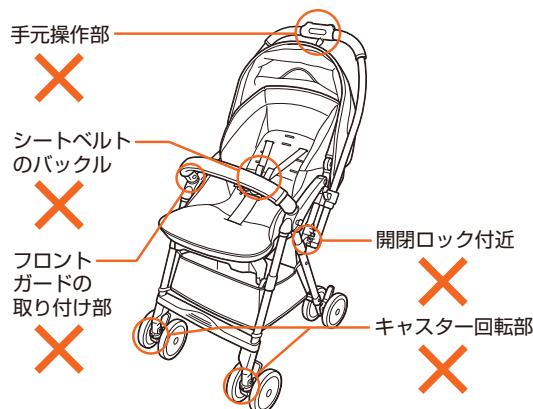
- 車輪やプラスチック部品および金属部品、バックル類、ハンドルグリップの汚れは、水を含ませよくしぼった布でふき取ります。

注油について

⚠ 注意

お子さまがなめる可能性の高いフロントガード、アームレストなどには油が付着しないようご注意ください。

- きしみが発生したり、作動が鈍くなって注油が必要と思われる場合は、必ず潤滑油（シリコン系）を少量、注油してください。
注油するときは、注油部分の泥や汚れをあらかじめふき取ってください。また、注油量が多すぎると、ほこりが付きやすく、かえって機能を低下させます。
- 右図に示す部分には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。

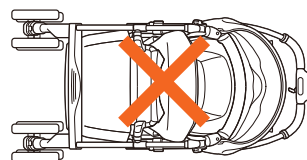


保管のしかた

直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所に立てて保管してください。
屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。

⚠ 注意

- 火の近くや夏季の車内など高温になる場所での保管は避けてください。
- ベビーカーに荷物を重ねた状態で保管をしないでください。故障や変形の原因となります。
- ベビーカーを寝かせて保管する場合は、背面を下にしてください。
- 横向きに寝かせて保管をすると、故障や変形の原因となります。
- ベビーカーを立てた状態で保管する場合は、キャストを内向きにロックし、必ずストッパーをかけてください。ベビーカーが倒れやすくなります。



点検とアフターサービスについて

- ご使用の前に、締結部品のゆるみ、部品の欠損および作動不良などの異常がないか点検してください。
- ご使用中に車体の破損、異常、締結部品のゆるみ、タイヤの摩耗、シートおよびシートベルトにやぶれ、ほつれなどが発生した場合や、部品の交換または修理が必要な箇所を発見した場合、ただちに使用を中止して当社コンシューマープラザにご連絡ください。そのまま使用しますと、重大な事故につながるおそれがあります。
お問い合わせの際は、車体後側から見て右のパイプに貼ってあるシールをご覧ください。製品名・ロットNo.をお知らせください。
- 製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お手入れの際に取りはずした製品は、本書をよく読み正しく取り付けてください。取りはずしたままですとお子さまが危険です。

- 本製品の修理／部品販売は、原則として製品の製造中止から3年後までとなります。この期間内でも該当部品の在庫がなくなった場合、対応できないことがあります。また、色や仕様が若干異なる部品で対応させていただきます。あらかじめご了承ください。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)

〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区約上新田271
TEL. (048) 797-1000
FAX. (048) 798-6109

コンシューマープラザ (Customer Service Center) / 西日本担当

〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町2-4-16
TEL. (06) 6942-0379
FAX. (06) 6942-0302

ベビーカーの標準期間について

ベビーカーの『標準使用期間』は「新規購入後5年」です。

標準使用期間を経過した場合、部品の経年劣化により、本来の性能を果せず危険を招くおそれがあります。不測の事態に備えてご使用をお控えください。

- 新規購入日を記録するために、販売店発行のレシート（領収書）とクイックスタートガイドを必ず保管してください。
- 標準使用期間内においても、使用方法や環境、保管条件により故障する場合があります、この期間の品質を保証するものではありません。品質保証書に記載している「お買い上げ日より1年間」の保証期間を過ぎた場合の修理は有償となります。
- 標準使用期間を過ぎた製品の修理は、製品全体の安全性の観点からお引き受けできません。
- 使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。

廃棄方法について

- お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。

SGマークの被害者救済制度

SGマーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、製品安全協会が事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施する制度です。ベビーカーの場合は、お買い上げ日より4年以内が有効期間となります。

●賠償についてのご注意

認定された製品そのものが故障したとしても、その品質について保証するものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害（人的損害）について賠償する制度です。

- 製品の欠陥により事故が起きた場合
損害を被った消費者（お子さまなどの場合は、保護者）が、事故発生日から60日以内に下記までご連絡願います。

一般財団法人 東京都台東区竜泉2丁目20番2
製品安全協会 号ミサワホームズ三ノ輪 2階
<https://www.sg-mark.org/reparation/>

●事故の届出に必要な項目

- ① 事故の原因となった製品現品
・製品名称、ロットNo. ・購入先、購入年月日
- ② 事故発生の状況
・事故発生日月日 ・事故発生場所 ・事故発生状況
- ③ 被害の状況
・被害者の氏名、年齢、性別、住所 ・被害の状況

SUGOCAL L long

- Before use, please read this Online instruction manual carefully and use it correctly.
- Follow the instructions in this manual when assembling the required parts.
- ※ The instruction manual in English and Chinese complies with ASTM standards.
- 使用前，請仔細閱讀線上使用說明書，並正確使用。
- 需要安裝部件時，請詳閱本說明書後正確安裝。
- ※ 英文・中文說明書符合ASTM標準。

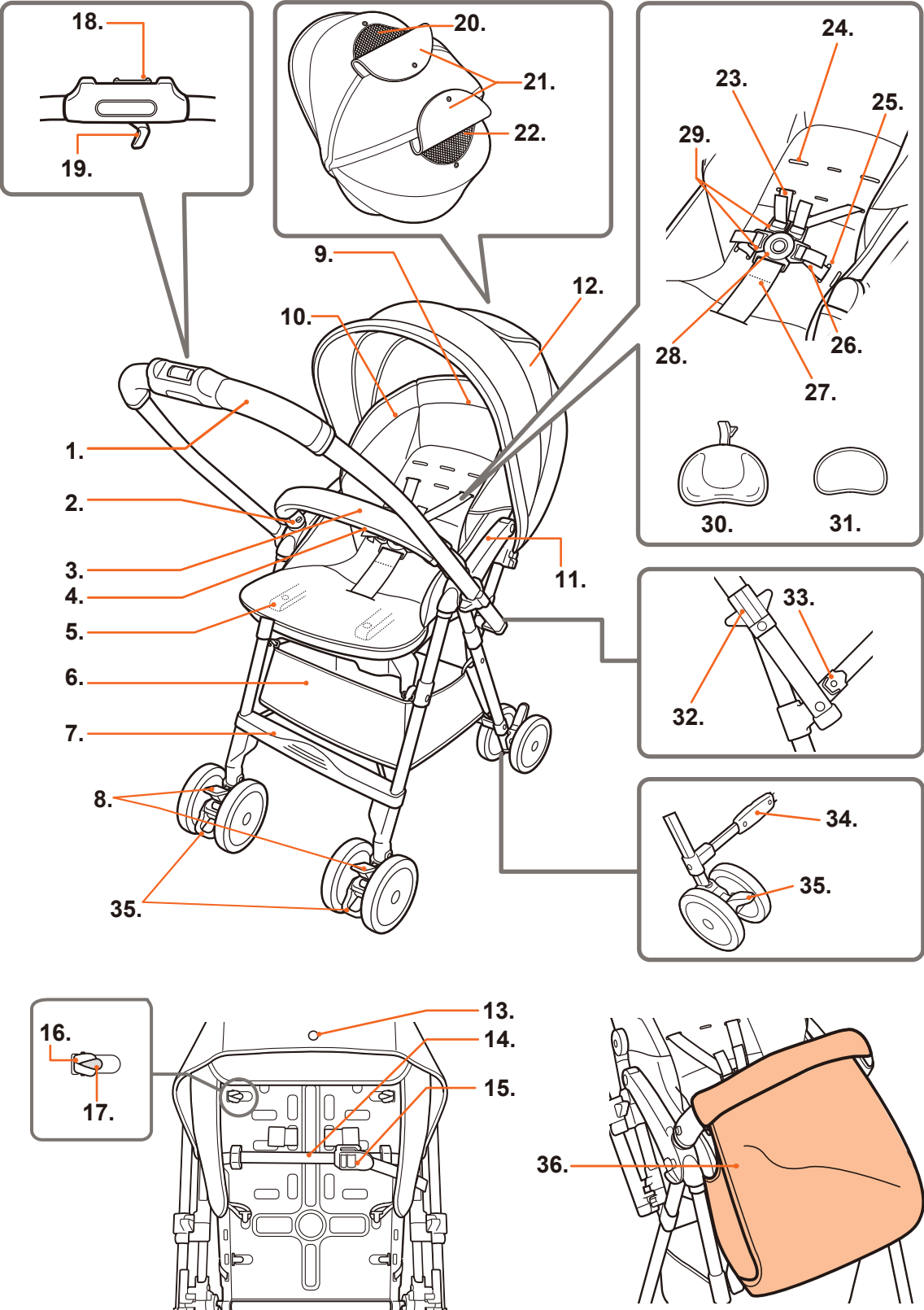


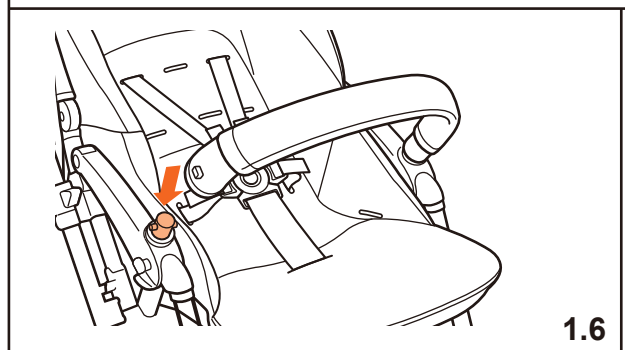
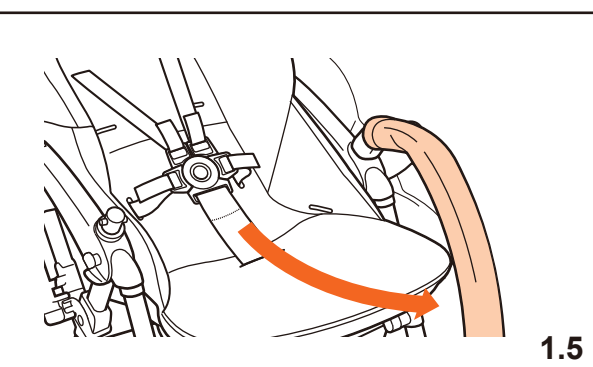
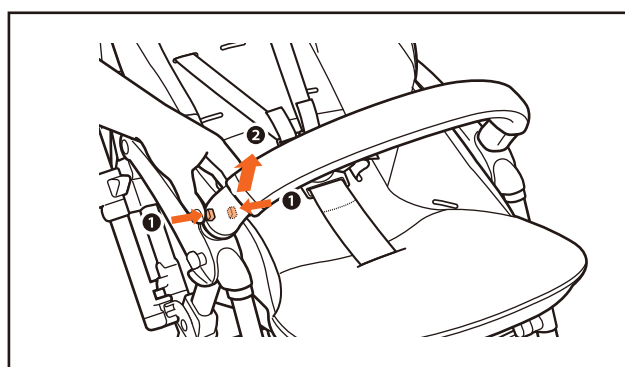
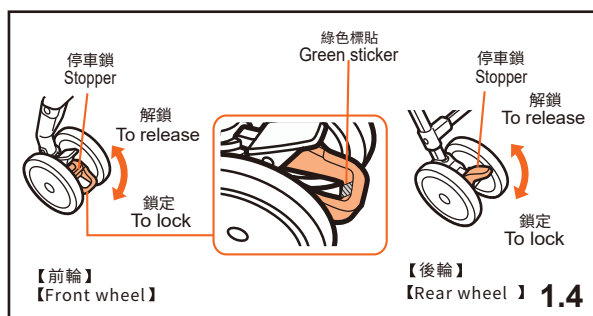
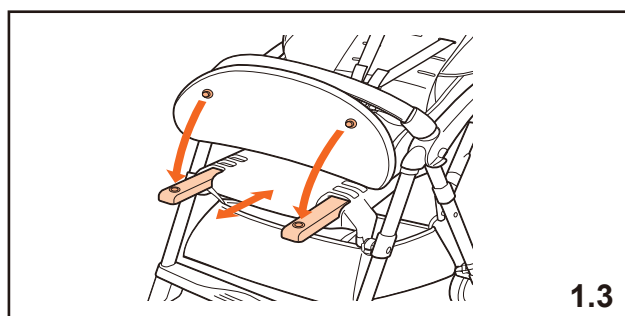
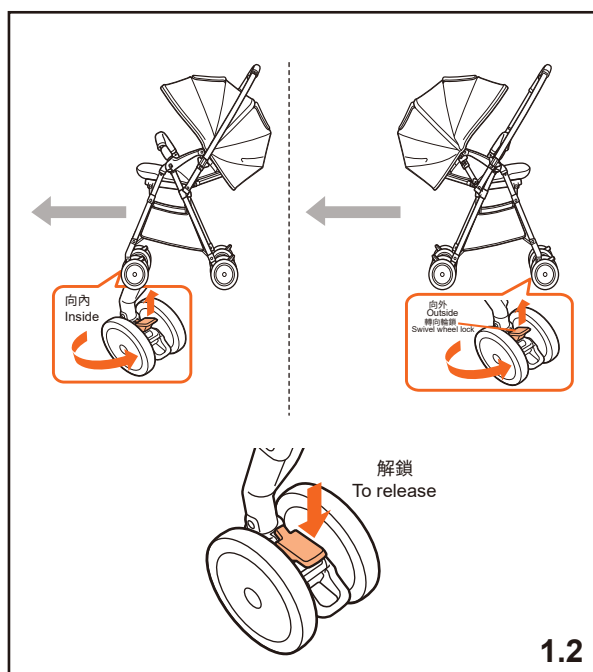
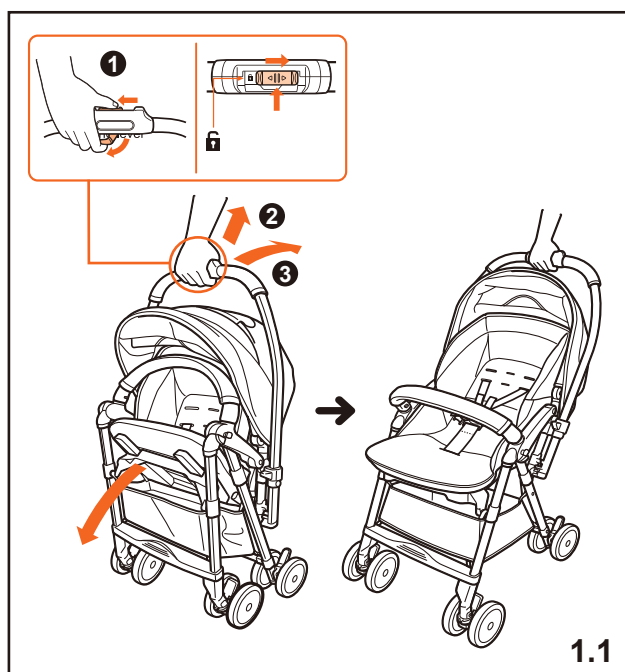
SUGOCAL L long

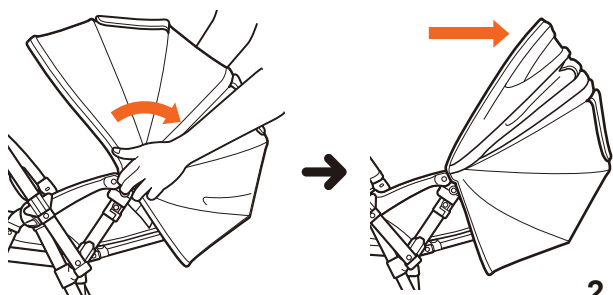
ENGLISH	Online instruction manual	6
繁體中文	線上使用說明書	14

List of components 【 P9 】

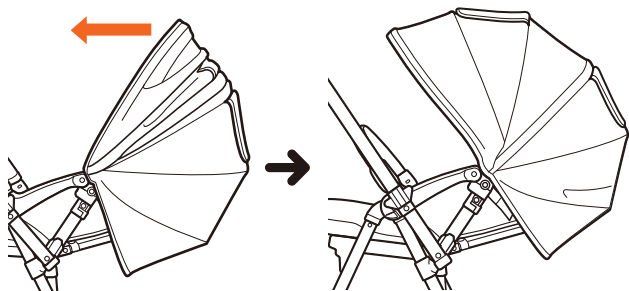
部品名稱(詳見17)



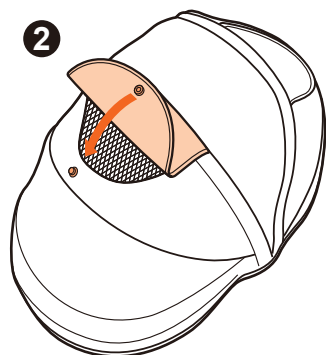
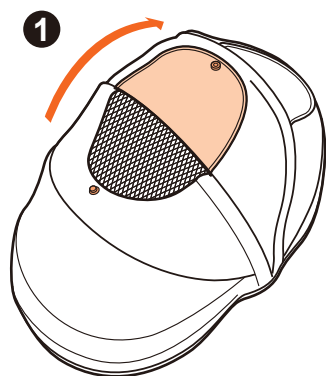




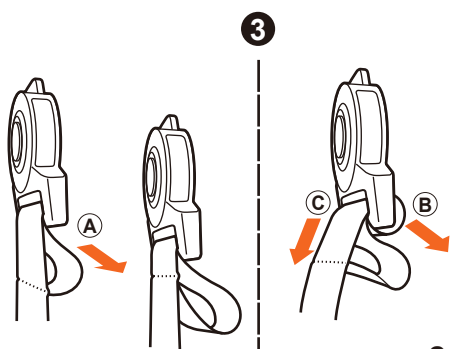
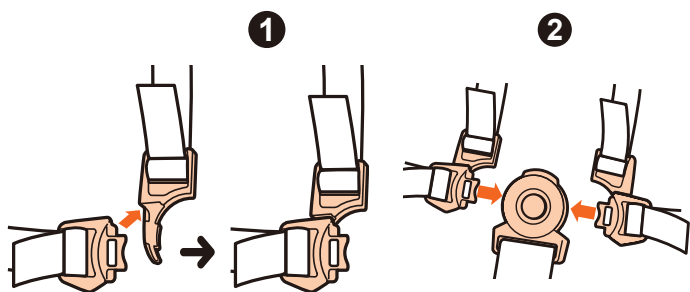
2.1



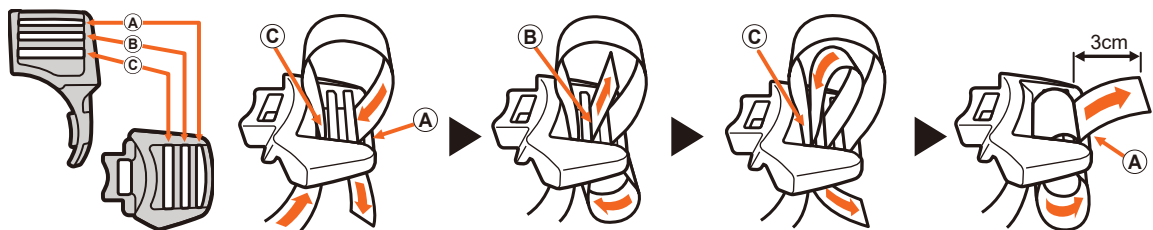
2.2



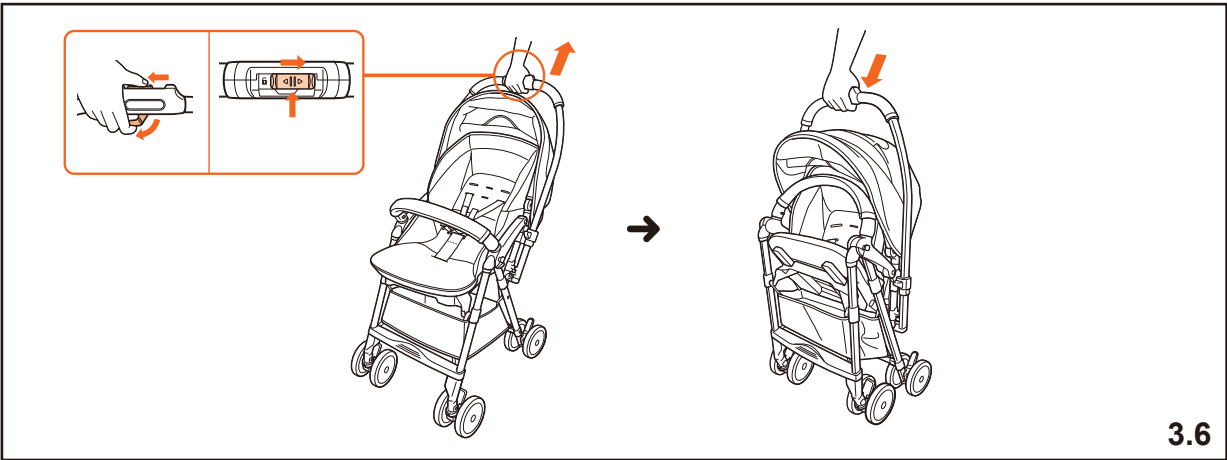
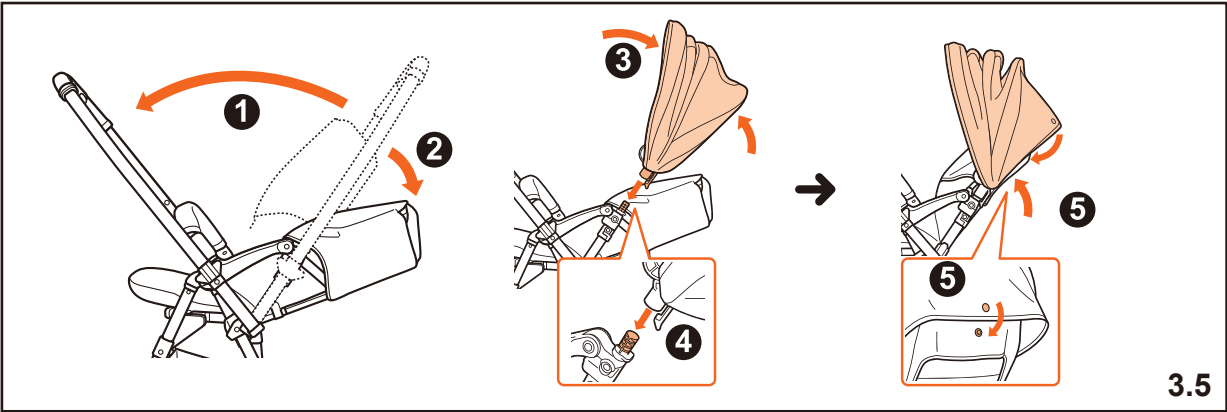
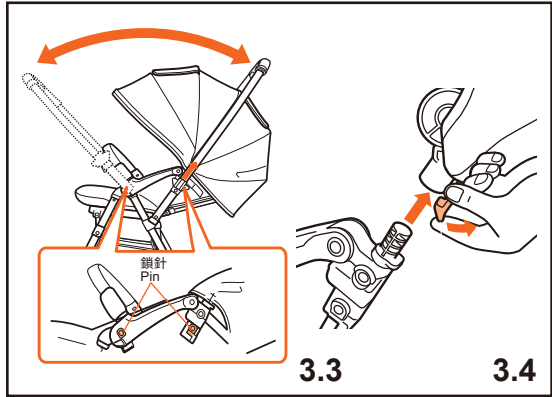
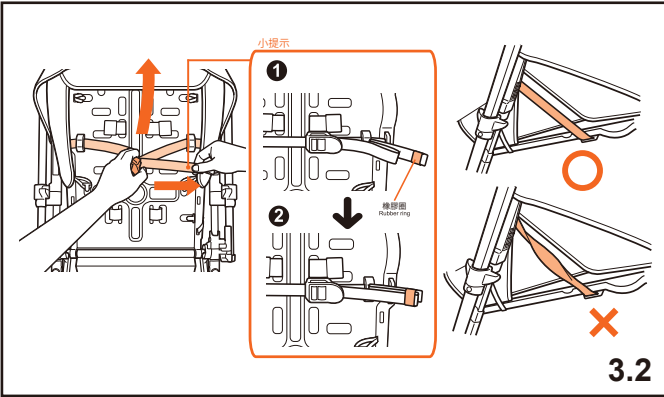
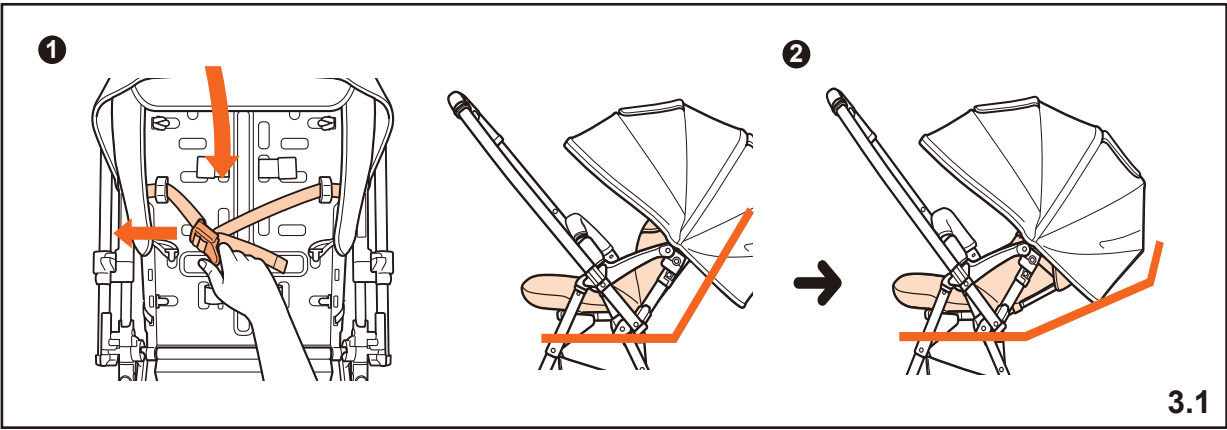
2.3



2.4



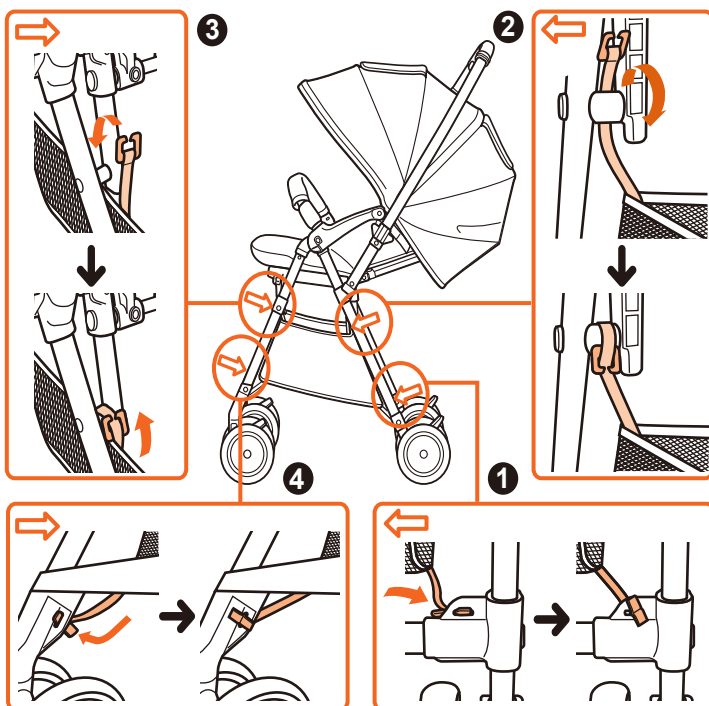
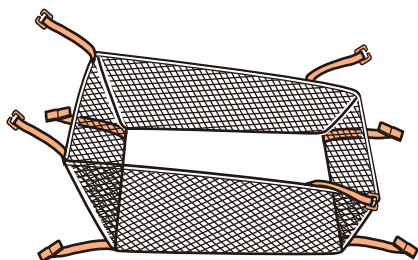
2.5



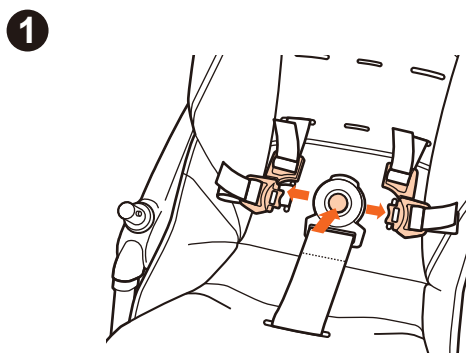
Max loading : 5kg

前
Front

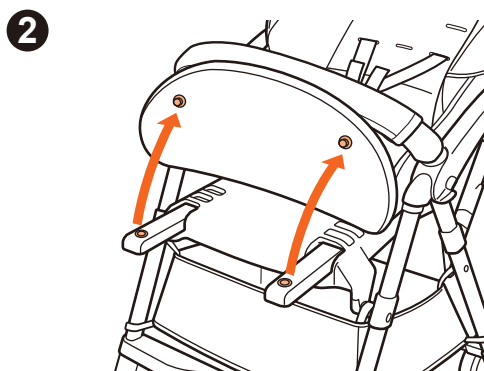
後
Rear



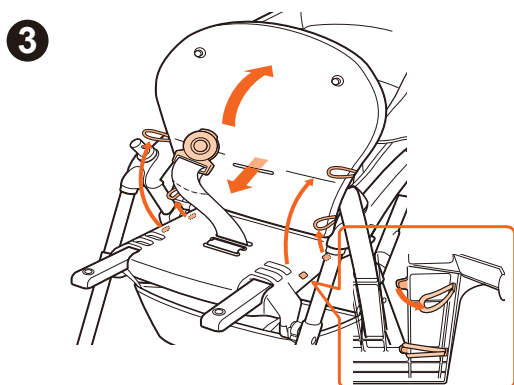
4.1



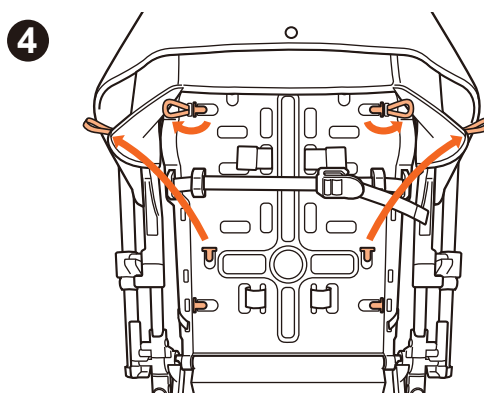
4.2



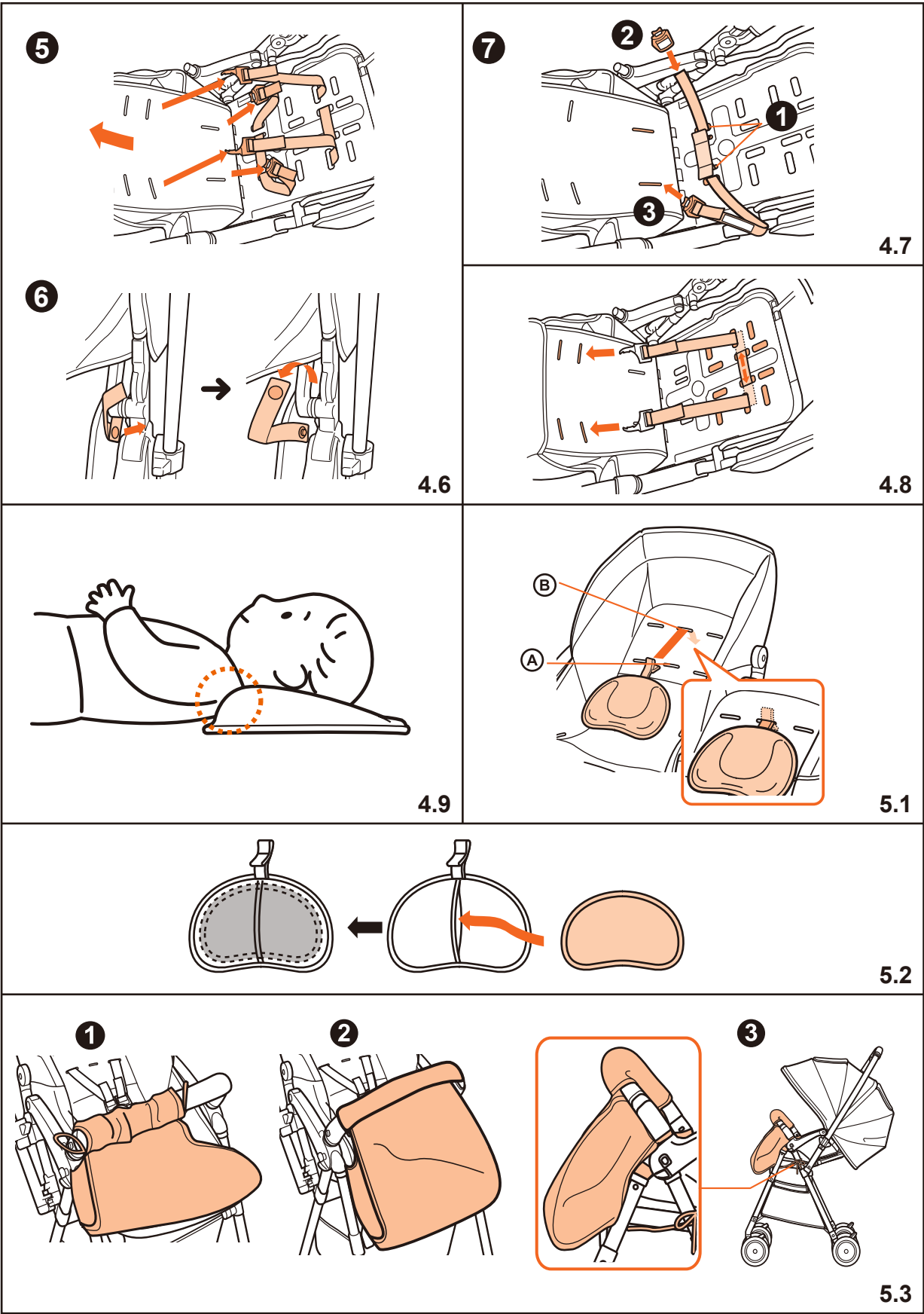
4.3



4.4



4.5





WARNING

Incorrect operation may cause serious injury or death

- The stroller is suitable for children from 1 month to 18kg (approximately 4 years of age).
- Basket maximum load:5kg.
- In the event of damage or operation problems, stop using the stroller immediately and contact your local agent's customer service center.
- Always use the restraint system to avoid any possible accident.
- Pay attention to child even when seat belt is in use in case of any sudden movement of child causing it to fall off.
- Do not allow your child to stand in or on the stroller, it may be dangerous.
- Do not lift stroller while child is in stroller.
- When opening/folding up the stroller or switching the handle, be careful and avoid the seat cushion, seat belt, blanket and toys, etc., being pinched into the stroller body.
- Any loading attached to the handle affects the stability of the stroller, on the back of the backrest and/or on the sides of stroller will affect the stability of the stroller.
- Mind the road when move the stroller and prevent any wheel get stuck in the groove.
- When the wheels get stuck in a groove, lift the wheels by holding the affected frame (pipe) and handle. Do not lift the entire stroller if a child or luggage is on board.
- Never carry more than one child in the stroller. Do not allow a child to ride or sit on any area other than the seat.
- If one gives excessive shock to the front wheels when getting over the step, stroller may fall down and cause damages. When stepping over, such as a curb, please stop even a slight difference level, pull downward the handle and step on the rear leg step, and make sure to pass the front wheels to get over the step.
- The parking device shall be engaged when placing and removing the children or stop the stroller , in case of sudden brake or turning, and then the stroller may fall off.
- Be careful not to get the stroller caught in the automatic closing door when riding the subway/high-speed rail or taking an elevator, and pay attention to the gap between the platform and the carriage.
- Do not use the stroller on stairs, escalators, rough roads, beaches, mud, etc.
- Do not switch the handle on slopes.
- This product is not suitable for running or skating.



WARNING

Incorrect operation may cause serious injury or death

- Do not rely too much on the stopper even when the stroller is parked empty.
- Do not leave the stroller when the child is seated.
- Do not leave the stroller unattended in dangerous places, such as on slopes or sidewalks close to the road, even when it is empty.
- Do not allow your child to get in or out of the stroller by themselves, as this may result in falls or fingers pinching.
- To avoid injury ensure that the child is kept away when unfolding and folding this product.
- Only use genuine parts, accessories, and options. Installing non-genuine accessories may affect the balance of the stroller and lead to accidents.
- Seat cushion can play a protective role. When the stroller is not installed with a seat cushion, please stop using the stroller. Otherwise, there may be risk of injury.
- Keep all small parts away from children as they are choking hazard.
- To avoid danger of suffocation, dispose of the plastic bag immediately.
- Do not place the stroller near fire, high temperature, pool, or electric source.
- It is extremely dangerous to adjust the seat angle when pushing the stroller. Do stop the stroller first before operation.
- Child may slip into leg openings and strangle. Never use in reclined carriage position(s) unless the ASTM-footcover is attached.
- Ensure that all the locking devices are engaged before use. Such as adjust your seat belt length, fasten your seat belt correctly and the stroller is fully opened.
- Do not use in a reclined angle less than 150° for a child under 6 months old.

CAUTION

Incorrect operation may cause injury or component damage

- Do not use the stroller in whatever purposes other than carrying children as this may cause damage.
- Do not allow your child to operate the stroller. It may lead to tipping over or unexpected accidents.
- Do not let an adult sit on the stroller, or add loading on the stroller to avoid any damage to it.
- Do not run while pushing the stroller. Running may cause the casters to function poorly and may lead to accidents such as a tipping over.
- Any placement of articles not approved by the manufacturer on the stroller will cause danger.
- Do not use in inclement weather. This may cause unexpected accidents.
- Do not store the stroller lying on its side or with heavy items stacked on top.
- When storing the stroller in an upright position, always engage the stopper.
- Do not modify or improperly repair the product. This may lead to unexpected accidents.
- Check regularly that all screws, bolts and nuts are engaged tightly.
- No continuous use for a long period:
Continuous use for a long period of time may exhaust baby. No continuous use of more than 2 hours for a baby in a reclined seat and 1 hour in an upright seat.
- For use on trains:
This product is not designed to be used on trains. When user attempts to use the product at his /her own risk, please lock stopper in case of sudden brake or turning. Otherwise stroller may fall off. Please follow the regulations of each country when using the stroller on public transportation.
- When the child's foot comes into contact with the floor or the wheel, stop using the stroller lest it be hurt.
- When pushing on ramps, the stroller may be unstable and there is a risk of tipping over. Please reduce speed and push carefully.
- Do not hold the front guard to lift the stroller.
- Do not pull or twist or forcibly press down the front guard hardily. Otherwise the stroller may be damaged.
- Lift the backrest a little to use if the seat is found too narrow when fully reclined. However, the baby should be able to sit straight when stroller is used in such way.
- Do not apply a lifted seat to baby who cannot sit straight by itself, the most reclined position is recommended for newborns.
- Do not use the most reclined angle if the baby's head touches at the head rest.
- Loosen the shoulder belts and support the backrest with the other hand before lowering the seat angle with a child seated.
- Do not put things that are too sharp or too large into the basket since it may cause damage to the basket.

LIST OF COMPONENTS

1.Handle	15.Seat reclining buckle	29.Shoulder and waist belt buckle
2.Front guard buttons	16.Elastic	30.Head support
3.Front guard cover	17.Plastic hooks	31.Eggshock pad
4.Front guard	18.Safety lock	32.Handle lock
5.Leg support bar	19.Folding lever	33.Open/Fold lock
6.Basket	20.Top window	34.Rear leg step
7.Foot rest	21.Top window cover	35.Stopper
8.Swivel wheel lock	22.Ventilation window	36.ASTM foot cover(only for packages that comply with ASTM safety standard)
9.Headrest	23. Shoulder belt	
10.Seat cushion	24.Shoulder belt insert outlet	
11.Armrest	25.Waist belt insert outlet	
12.Canopy	26.Waist belt	
13.Canopy snap	27.Crotch belt	
14.Reclining cord	28.Crotch buckle	

INSTRUCTIONS

Unfolding/Opening (Figure 1.1)

- ① Grip the safety lock as demonstrated direction and hold it in place.
- ② Slide and pull the folding lever upwards simultaneously..
- ③ Slightly lift the stroller and open it.

Using the swivel wheels (Figure 1.2)

- ① Lift the swivel wheel locks to fix the direction.
- ② Press down swivel wheel lock to secure the swivel wheels. Be careful to secure the lock in correct position according to the handle position.

NOTE: Press down the swivel wheel locks and the wheels can turn to every direction.

Using the leg support bar (Figure 1.3)

Apply the leg support for better comfort when the child is asleep.

- ① Lift the seat cushion and pull out the leg support bars from the seat base.
- ② Snap the seat cushion onto the leg support bars.

To store the leg support bars

Release the snaps and push the bars back to the seat base.

⚠ WARNING: Make sure to snap the seat cushion onto the leg support bars while carrying the baby on stroller.

Parking brakes (Figure 1.4)

- ① To lock wheels, press the stoppers down which are located at wheels on both left and right sides.
- ② Try to push the stroller back and forth slightly to ensure that the stoppers are properly engaged.

NOTE: Check the brakes are fully engaged by gently attempting to push the stroller, when the brake of front wheel is fully engaged, the Green sticker can be seen from above.

⚠ WARNING: Always engage the stoppers when you leave the stroller.

Open the front guard (Figure 1.5)

- ① Press and hold the button at the end of the front guard as illustrated.
- ② Detach the front guard.

Attach the front guard (Figure 1.6)

To attach front guard, lift and plug into the projected part at the end of the armrest.

⚠ WARNING: Do not hold of the front guard to lift the stroller.

Detaching the front guard cover (Figure 1.7)

- ① Press and hold on the front guard buttons and release the front guard.
- ② Detach the front guard cover from the front guard.

Adjust the covering size of canopy

Using in small covering size (Figure 2.1)

Unfold the canopy from backward.

Using in big covering size (Figure 2.2)

Unfold the canopy further to the front.

Top window (Figure 2.3)

- ① Open top window by releasing snaps.
- ② Fasten the snap to close top window.

Install and adjust the crotch belt (Figure 2.4)

- ① Attach shoulder belts to the shoulder belt hook of the left and right insert plastics.
- ② Pull out the crotch belt and put the insert plastics into the buckle until a "Click" sound is heard.
- ③ Tightening
 - Ⓐ Pull out the center belt to the end.
 Extending
 - Ⓑ Follow the direction of arrow and pull out the belt to end.
 - Ⓒ Follow the direction of arrow and pull the belt to the end.

⚠ WARNING: Avoid serious injury from falling or sliding out. Always use seat belt.
NOTE: When changing the seat recline angle, always check the harness to ensure it is still optimally adjusted.

Adjusting the waist belt (Figure 2.5)

Pull the belt in the direction as illustrated to adjust its length.

NOTE: Always leave at least 3cm at the belt end.

NOTE: To release harness, go in the steps reverse.

The steps of adjusting shoulder and waist belts are the same.

Adjusting the backrest (Figure 3.1)

- ① Support the backrest with one hand before reclining the backrest.
- ② The headrest will be lifted automatically after the backrest is reclined.

(Figure 3.2)

Pull the reclining cords as illustrated to raise the seat back.

NOTE: Raising the backrest may be difficult while a child is leaning on the backrest.

The reclining belt sometimes is twisted, correct the twisted reclining belt by the following steps:

- ① Set the backrest down to the lowest.
- ② Hold the belt mounting part and turn to the direction of the twisted reclining belt.

Reversing handle (Figure 3.3)

Lift and release the handle locks to change the handle direction until the locks are secured in places.

Detaching the sun canopy (Figure 3.4)

Pull out the canopy joint end gradually, pull up the canopy away from the holder.

Attaching the sun canopy (Figure 3.5)

- ① Switch the handle to face rear. Refer to the “Reversing the handle”.
- ② Recline the backrest to the lowest angle. Refer to the “Adjusting the backrest”.
- ③ Place the canopy facing the proper direction.
- ④ Plug the canopy joint into the canopy holder.
- ⑤ Lift up the backrest, and fasten the canopy snaps.

Folding the stroller (Figure 3.6)

- ① Slide to release the safety lock of direction as illustrated.
- ② Grip the folding lever and slightly lift up the handle, then press down the handle as illustration to fold the stroller.

⚠ WARNING: When folding the stroller, please ensure your child and other children are kept at a safe distance. Please ensure that they are not in contact with mounting parts and remove all items from the basket before folding the stroller.

Basket (Figure 4.1)

The basket can carry a maximum weight of 5kgs. You can attach and remove it using the belts and snaps according to step ① ② ③ ④ .

Detaching the seat cushion (Figure 4.2-4.6)

- ① Release front snaps and elastic bands underneath of the seat, and on both sides of seat. Remove the shoulder belts from the shoulder belt hooks.
- ② Detach the snap on the seat cushion from the leg support bar (if the leg support bar is in use)
- ③ Pull out crotch belt from seat cushion.
- ④ Release both elastic bands from backrest sides.
- ⑤ Pull out shoulder and waist belts from seat cushion.
- ⑥ Release the snaps of band on both cushion sides of the cushion and unwind from the connections of armrest sides for detachment.

NOTE: To install seat, go in the steps reverse.

⚠ WARNING: Make sure the seat cushion has been correctly attached before use.

Attaching the waist belt (Figure 4.7)

- ① Remove two of insert plastics buckle from the waist belt.
- ② According to the direction of arrow instructions Pull the waist belt through the 4 slits on the base board with the reverse side(waist belt) facing up.
- ③ Re-attach the insert plastic buckle and pull it out through relevant slots of seat cushion.

NOTE: Make sure to pull through all waist belt insert outlets(total 4 places)when attaching the waist belt.

Adjust shoulder harnesses heights (Figure 4.8)

- ① Pull out shoulder harnesses from seat cushion and base seat.
- ② Set the correct slots of shoulder harnesses through on the base seat.
- ③ Set correctly the harness shoulder heights and pull it out through relevant slots of seat cushion.

NOTE: The lowest shoulder harness insert outlet should be used for children under 6 months.

Installing the dacco cushion (Figure 4.9)

Correct position of head support - The cushion pad of the head support should just touch at the child's neck. Below is the age reference of using dacco cushion.

Installing the head support (Figure 5.1)

Loop the head support belt through the head support hole, the belt is tipped opposite through the hole to attach. After it is installed, check if it is well secured to the seat cushion by slightly pulling.

Reference for head support insertion outlets ① ②:

① for child from around 1 month to 4 months. ② For child from around 4 months to 7 months.

To use with EggShock pad (Figure 5.2)

① Store inside head support.

The EggShock pad can be inserted into the head support of Dacco Seat to protect child from the vibrations from the ground when strolling. Insert the EggShock pad from the rear packet of the head support.

② Store inside seat cushion to use. Insert the EggShock pad from the rear packet of the seat cushion.

Installing the ASTM foot-cover (Figure 5.3)

① Press and hold the button at the left end of the front guard, put a band and foot cover onto the front guard as illustration.

② Tie up another band to the projected part, plug the front guard into the projected part at the end of the armrest.

③ To attach front guard and fasten the holding strings to the rear leg tubes to complete the installation.

Maintenance and Cleaning

- Never apply force on any mechanism or moving parts.
- To prevent mildew forming, do not store this product in a wet or humid environment.
- Avoid prolonged exposure of the product to rain or snow.
- Clean the plastic and metal parts with a wet cloth. For stubborn stains, use a diluted mild detergent.
- You may lubricate moving parts if the operation or movement of the stroller is not smooth. Do not apply excessive lubricant as it may stain with dust which may cause malfunction.
- Please do not apply any lubricating oil on handle lock (open/fold lock), safety belt buckle, front guard plug, safety lock, folding lever and swiveling lock that will cause malfunction.
- In the event of if you find the tyre wear seriously affect movement/ stroller damage or operation problems, please contact customer service center.
- When using the washing machine, put the laundries into the washing net. Otherwise a fray and damage may cause.
- After washing, please twist it gently to make it dry. Hard twist may leave folds onto the fabric.
- Do not soak into the water. Use sponge or brush wipe off the dirt with warm water.
- Dry in shade area after wipe off water by dried cloth.

Supplier:

Combi Hong Kong Limited

**Units 1616-18, 16/F, Tower 1, Grand Century Place,
193 Prince Edward Road West, Mongkok, Kowloon, Hong Kong**



警告

錯誤操作可能引致重大傷害或死亡

- 本產品適用於一個月初生兒至18kg (大約四歲) 的幼兒。
- 置物籃最大承載重量：5kg。
- 如手推車出現損壞或操作問題，應立即停止使用，並與當地代理商客服中心聯繫。
- 為了防止意外發生，孩子乘坐時必須繫上安全帶。
- 為防止幼兒突如其來的動作令其跌出手推車，即使已經扣上安全帶，也請經常留意幼兒，小心使用。
- 不可讓幼兒站立在車上，這是十分危險的。
- 孩子乘坐於手推車內時，不可將整個手推車往上提。
- 當收開手推車或轉換把手時，請注意及避免可裝拆的座墊、手推車的安全帶、被子及玩具夾在手推車車體上。
- 在把手上放置任何負載都會影響車輛的穩定性，請勿將其他產品連接到推把、靠背的背部、手推車的側面等部位。
- 推行時請注意路面狀況，不要讓手推車卡入溝槽中。
- 當車輪卡在溝槽中時，請抓住被卡住的框架（管子）和手柄，將車輪抬起。在此過程中，如果嬰兒車上有孩子或物品，請勿抬起整個嬰兒車。
- 切勿承載超過一名幼兒，或讓幼兒坐在座椅以外的地方。
- 當越過不同段差時，若強行附加力量於前車輪上使之與段差碰撞，可能引起手推車損壞和故障。當越過段差時，即使是微小段差區的地方也應暫時停下，踩後腳踏板並往後按下把手向前推行，確保前車輪越過段差才可通行。
- 當放入/ 抱出孩子或停止手推車時，應鎖定停車鎖，以免轉彎或剎車時令手推車翻倒。
- 在乘坐如地鐵、高鐵等交通工具或電梯時，請注意手推車不要被自動閉合門夾住，並請留意月臺和車廂之間的縫隙。
- 不可於階梯、自動扶梯、顛簸坡道、沙灘、泥地等場所使用手推車。
- 在斜坡上，請勿轉換把手。
- 此產品不宜於跑步或滑行時使用。
- 不論有否承載嬰兒，停車時勿過分信賴停車鎖的性能。
- 當兒童乘坐時，看護人不要離開。
- 即使嬰兒車是空的，也不要將其放置在危險區域，例如斜坡上或靠近車道的人行道上。
- 請勿讓孩子自行上下手推車，以免發生摔倒或夾到手指等危險。
- 為避免傷害，當產品在摺疊和展開時，請確保你的孩子遠離產品。
- 請僅使用正品配件、零部件和選件，如安裝非正品配件可能會影響手推車的平衡，導致意外事故發生。
- 座墊會有保護作用，推車未安裝座墊時禁止兒童使用，否則可能有造成傷害的風險。



警告

錯誤操作可能引致重大傷害或死亡

- 切勿將小配件放置於幼兒附近，以免幼兒吞下而造成窒息的危險。
- 為防止窒息的危險，請立即丟棄塑膠袋。
- 使用時應遠離高溫、火源、水池或電源等鄰近範圍。
- 一邊推行一邊調整座席角度是非常危險的，請勿同時進行。
- 孩子可能會滑落並導致窒息。當平躺時，請使用ASTM 腳套。
- 使用手推車前請確保推車所有鎖定裝置都已處於鎖定狀態，如安全帶長度調整，座墊扣環扣上，推車已完全展開。
- 當靠背角度少於150 度時，不適合6 個月以下幼兒使用。6 個月以下嬰兒使用，請使用最斜躺位置。



注意

錯誤操作可能引致受傷或元件損壞

- 請勿將手推車作承載幼兒以外的用途，否則會引致損壞。
- 請勿讓孩子操作嬰兒車，這可能導致嬰兒車傾倒或發生意外事故。
- 請勿讓成年人坐上手推車，或在上面放置重物，以免損壞手推車。
- 推嬰兒車時請勿跑步。跑步可能導致腳輪操作不順暢，可能引發傾倒等事故。
- 任意放置未經製造商核可之物品於車臺上將造成危險。
- 請勿在惡劣天氣下使用。這可能會導致意想不到的意外。
- 請勿將嬰兒車橫著放置或堆放重物。
- 如果將嬰兒車豎立存放，請務必鎖定止動器。
- 請勿對產品進行改造或不當修理，這可能導致意外事故。
- 請定期檢查所有螺絲是否上緊。
- 禁止連續長時間使用：
連續長時間使用會對幼兒造成負擔。躺臥姿勢的連續使用時間上限為2小時，坐著姿勢的則為1小時。
- 有關火車上的使用：
本產品並非以火車上的使用為目的所設計的產品。假如閣下自行決定於火車上使用，請小心注意，並鎖上停車鎖，以免轉彎或剎車時令手推車翻倒。在公共交通工具上使用嬰兒車時，請遵守各國的規定。
- 當幼兒的腳接觸到地面和車輪時，請勿使用手推車，有可能造成腳受傷。
- 在坡道上推行時，嬰兒車可能不穩定，有傾倒的風險。請降低速度，並小心推行。
- 請勿手執前護欄搬動手推車。
- 請勿用力拉動、扭動、壓下前護欄，以免引致損壞。
- 假如放低椅背使用時座位太窄，可以將靠背調高一點使用。但注意幼兒應已差不多能獨自坐直，才可這樣使用。
- 對還未能坐直的幼兒，請勿使用直立角度，請以最平躺角度使用。新生兒建議使用最平躺的角度。
- 當幼兒頭部碰到護頭板時，請勿使用躺臥角度。
- 在已承載幼兒的狀態下調整座席角度時，請先將肩帶調鬆，然後以另外一隻手支持著靠背調節。
- 請勿承載太尖或太大的東西於置物籃中，以免置物籃損壞。

部件名稱

1. 把手	11. 扶手	21. 天窗蓋	31. Eggshock墊
2. 護欄鬆脫掣	12. 車篷	22. 透氣窗	32. 把手鎖
3. 護欄套	13. 車篷鈕釦	23. 肩帶	33. 開關鎖
4. 前護欄	14. 角度調節帶	24. 肩帶穿孔	34. 後腳踏板
5. 腿部支撐桿	15. 角度調節釦	25. 腰帶孔	35. 停車鎖
6. 置物籃	16. 鬆緊帶	26. 腰帶	36. ASTM腳套
7. 腳踏	17. 安裝鬆緊帶用鉤	27. 中央帶	(僅符合美國
8. 轉向輪鎖	18. 安全鎖	28. 中央帶扣	ASTM安全基
9. 護頭板	19. 開關擎	29. 肩腰帶扣	準的市場販賣
10. 座墊	20. 天窗	30. 護頭墊	品配備

使用方法

打開手推車 (圖1.1)

- ① 將把手上的安全鎖向箭頭方向滑動並握住。
- ② 同時握著並提起開關掣。
- ③ 稍稍提起並打開手推車。

使用轉向輪 (圖1.2)

向上推起轉向輪鎖，即可固定車輪前行方向。注意鎖定之位置會因把手方向而有所不同。

小提示：按下前輪的轉向輪鎖，車輪可自由轉向，改變推行方向更容易。

使用腿部支撐桿 (圖1.3)

使用腿部支援桿，可以使幼兒睡覺時姿勢更舒適。

- ① 提起座墊，將座椅下的腿部支撐桿抽出。
- ② 蓋上座墊，再將鈕扣扣上。

收起腿部支撐桿時解除鈕釦，再將腿部支撐桿推回座椅底部。

警告：承載幼兒時請確保已用鈕釦把座墊和腿部支撐桿扣上。

停車鎖 (圖1.4)

- ① 壓下左右車輪的停車鎖，即可鎖定。
- ② 將停車鎖向上拔即可解鎖。

小提示：輕輕前後推動手推車，確定停車鎖已鎖緊。

前輪停車鎖踩到底時可見到綠色標貼，表示手推車剎車裝置已完全鎖住。

警告：在遠離手推車時，請時刻謹記使用停車鎖。

打開前護欄 (圖1.5)

- ① 如箭頭方向按下前護欄鬆脫掣。
- ② 抽起前護欄。

安裝前護欄 (圖1.6)

要鎖上護欄時，請先將護欄提起，照準末端突起部位，然後插入安裝。

⚠️ 警告：請勿手執前護欄搬動手推車。

拆除護欄套（圖1.7）

- ① 按下護欄鬆開按鈕，將護欄拉開。
- ② 從護欄上取下護欄套。

調節車篷大小

（圖2.1）以較小幅度使用時

將車篷往後收摺。

（圖2.2）以較大幅度使用時

將車篷再往前方打開。

打開天窗（圖2.3）

- ① 打開天窗須將鈕釦打開。
- ② 關閉天窗將車篷上的鈕釦重新扣上。

調節中央帶（圖2.4）

- ① 將肩帶扣在左右兩方插扣片上的肩帶鉤上。
- ② 拉出中央帶，將左右兩方的插扣片插進中央帶的安全帶扣內，直到聽到[咔嚓]一聲為止。
- ③ 收緊中央帶，如圖 (A) 拉出中央帶到最末端，為最短狀態。
延長時，如圖 (B) 箭頭方向拉出中央帶到末端，按照圖 (C) 箭頭方向拉到底，為最長狀態。

⚠️ 警告：避免因跌落或滑出而造成嚴重傷害，請確保兒童在任何時刻佩戴安全帶。

小提示：當改變靠背角度時，請謹記檢查並確認安全帶已作出最適當的調整。

安裝腰帶（圖2.5）

將腰帶參照圖示的步驟來進行安裝。

小提示：注意腰帶末端應留下3cm以上的長度。

小提示：若解除請按照相反的步驟操作。

肩帶的調節方法和腰帶的調節方法相同。

調節靠背（圖3.1）

- ① 調低座席角度時，先以單手支撐著靠背。將角度調節扣往下拉調底靠背。
- ② 擋頭部自動升起。

（圖3.2）

將角度調節帶往箭頭方向拉來調高靠背角度。

小提示：幼兒靠在靠背時，角度調節會變得困難。

斜躺操作困難，斜躺帶有時會被扭曲。通過以下步驟改正扭曲的斜躺帶。

將靠背設置最低。

將斜躺帶整體地從帶固定的地方扭轉方向。

手推車換向（圖3.3）

將左右兩邊的把手鎖拉起解除後轉換把手方向，直至把手鎖重新鎖上為止。

拆除車篷（圖3.4）

將插座下方從末端方向拉著插桿末端。慢慢將車篷拔出。

安裝車篷（圖3.5）

- ① 將把手置於對面位置，詳見「手推車換向」。
- ② 將靠背調至最低位置，詳見「調節靠背」。
- ③ 確認車篷前後方向。
- ④ 然後將車篷插桿插進車身上插座之中。
- ⑤ 背板提起固定兩個車篷鈕釦。

收摺手推車（圖3.6）

如圖中箭頭方向拉動安全鎖作解除。

一邊握住折疊按鈕，一邊提起推把桿，然後按下推把桿，推車被折疊起來。

 **警告：**在收摺手推車前，請確保與幼兒保持安全的距離，請勿讓幼兒觸及活動零件，並從置物籃中取出所有物品。

置物籃（圖4.1）

置物籃的最大承載重量是5kg。

使用安裝帶子及帶扣並按照步驟 ① ② ③ ④ 安裝或拆除置物籃。

拆除座墊的方法（圖4.2-4.6）

- ① 按下安全帶扣按鈕，將插扣片從安全帶扣解下。
- ② 解除座墊末端和腿部支撐桿間的鈕釦（如有使用腿部支撐時）。
- ③ 將中央帶從座墊上拉出。
- ④ 解除背板尾部兩側的鬆緊帶。
- ⑤ 將肩帶、腰帶從座墊拉出。
- ⑥ 解除座墊前端（兩處）的鈕釦和前端底下的鬆緊帶。

小提示：若安裝請按照相反的步驟來操作。

 **警告：**使用手推車前務必確認座墊已正確安裝。

腰帶的安裝方法（圖4.7）

- ① 先解除腰帶兩方的腰帶扣。
- ② 將腰帶的內側向上通過背板上的4個腰帶穿孔。
- ③ 再將兩方的腰帶扣安裝上去並且穿過座墊對應的穿孔。

小提示：安裝腰帶時必須要穿過（4個）腰帶穿孔。

調節肩帶高度（圖4.8）

- ① 先將肩帶從座墊及背板上拆除。
- ② 將肩帶穿過背板上正確的肩帶孔。
- ③ 將肩帶穿過座墊上正確對應的穿孔，並確認兩邊穿孔在適當的高度。

小提示：當幼兒未滿六個月時，請使用最低的肩帶穿孔。

懷抱型座墊的安裝方法（圖4.9）

護頭墊的安裝位置——護頭墊部分，應該剛剛抵幼兒頸部。

護頭墊的安裝方法（圖5.1）

透過護頭墊穿孔通過頭部支援帶，將支援帶折迴繞過穿孔安裝。它被安裝後，輕輕的拉動檢查它是否固定在可移動的座椅。

有關護頭墊穿孔 ① ② 的參考：

- ① 大約供1個月至4個月的幼兒使用。
- ② 大約供4個月至7個月的幼兒使用。

使用EggShock墊 (圖5.2)

放進護頭墊內使用時，EggShock墊可以安裝到Dacco墊的頭墊內，在頭墊背部的口袋進行安裝，用於保護幼兒頭部免受推行時的震動影響。

放進座墊內使用時，將座墊頭靠背面的專用口袋打開放入EggShock墊。

使用ASTM腳套 (圖5.3)

- ❶ 手執前護欄末端如圖般按緊左邊的護欄按鈕，將前護欄提起後慢慢將鬆緊帶和腳套穿到前護欄上。
- ❷ 然後將另一方的鬆緊帶固定突起部分及將前護欄提起，向末端突起部分準確地按下。
- ❸ 固定前護欄後，將兩側的固定帶如圖般穿過兩側的後腳管後固定，這樣便完成安裝。

保養和清潔

- 切勿強行拉動活動零件或裝置。
- 請勿將產品存放在潮濕的地方以免產品發黴。
- 避免將產品長時間暴露于雨水或雪霜之中。
- 請以濕布清潔金屬及塑膠部位。如遇頑固污垢，可使用稀釋的清潔劑。
- 若感到手推車操作或運行不順暢時，可以添加適量的潤滑劑。注意不要添加過多的潤滑劑，否則反而會容易沾上塵埃，引起操作異常。
- 注意某些部位不可以加潤滑劑，如把手操作部、座席安全帶扣、前扶手的安裝部、開閉鎖周圍、轉向輪回轉部、否則可能引起動作不良。
- 如發現車輪外胎磨耗嚴重，影響推行/ 手推車損壞或有操作問題，請聯絡客服中心 (或當地經銷商)
- 使用洗衣機的時候，請將縫製品放入柔洗袋內洗滌，避免縫製品損壞。
- 手洗後，請輕輕的擰乾，大力擰乾的話可能會使縫製品留下褶皺。
- 請勿將縫製品浸泡在液體中。請用海綿或毛刷並使用溫水來擦拭污垢。
- 擦拭後請置於陰涼處陰乾。

Combi Corporation